

味の新鮮蔵

組立・設置説明書

ARV-8001TK ARV-11001TK

もくじ

安全上のご注意	1	製造No.の記入について	9
設置作業をされる方へのお願い	2	タッピンネジの締め付けについて	9
設置スペースおよび設置時のご注意	2	六角ボルトの締め付けについて	9
組立・設置に必要な主な工具	3	パネルの組み付けについて	9
付属品の確認	3~6	三相200V仕様の電源プラグについて	9
パネル類の確認	7	組立	10~39
組立・設置をする前に	8	試運転	40~41

本書は低温貯蔵庫の組立・設置に関する説明書です。
本書をよくお読みいただき、内容を十分理解されたうえで作業手順にしたがい、組立および設置していただきますようお願いいたします。
なお、この組立・設置説明書は組立・設置終了後に取扱説明書と一緒に、お客様で保管していただくようお願いいたします。



安全上のご注意

- この製品を組立・設置されるまえに、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく組立・設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

警告

<p>必ず実施</p> <p>冷却ユニットを載せるとき、天井パネルの上に乗るときは、必ず接続ブラケットのボルトを本締めする。 本締めをしないと天井パネルがはずれ、転落やユニット落下などによるケガの原因になります。</p>	<p>必ず実施</p> <p>電気工事、配線は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および本書の組立・設置方法にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路不良、容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。</p>
<p>必ず実施</p> <p>組立・設置は専門業者が本書の組立・設置方法にしたがって実施する。 お客様ご自身で組立・設置をされ不備があると、感電・火災・水もれの原因になります。</p>	<p>必ず実施</p> <p>漏電遮断器を必ず取り付ける。(推奨漏電遮断器：定格電流 15A (定格感度電流 30mA)) 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。</p>
<p>必ず実施</p> <p>電源は本機の定格電圧・周波数で使用する。 火災・発火・発煙の原因になります。</p>	<p>必ず実施</p> <p>15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。 他の機器とタコ足配線すると発熱による火災の原因になります。</p>
<p>必ず実施</p> <p>延長コードを使用するときは、太さ2mm²以上、長さ10m以下にする。 発熱による火災の原因になります。電圧降下により、正常に作動しない原因になります。</p>	<p>禁止</p> <p>可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置しない。 万一ガスがもれ、ユニットの周囲にたまると爆発・火災・発火・発煙の原因になります。</p>
<p>禁止</p> <p>屋外に設置しない。 雨・霧のかかる場所で使用されますと、感電・漏電の原因になります。</p>	<p>分解禁止</p> <p>改造は絶対しない。 改造工事をされると、感電・火災・水もれの原因になります。</p>

注意

<p>必ず実施</p> <p>床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。 設置に不備があると転倒によるケガ・水もれ・冷気もれなどの原因になることがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>床がぬれてはいけない場所に設置しない。 湿度が高いときには製品の外側や扉回りに結露した露が滴下し床面をぬらす原因になることがあります。</p>
<p>禁止</p> <p>扉を下から持ち上げない。 扉がはずれてケガの原因になることがあります。</p>	<p>必ず実施</p> <p>ドレンホースを確実に配管する。 水もれにより貯蔵物を湿らせる原因になることがあります。</p>
<p>禁止</p> <p>アジャスターは最大調節高さ50mm以上に伸ばさない。 はずれると製品転倒などによる、ケガの原因や、本体がゆがむなどして冷却性能を損なう原因になることがあります。</p>	

設置作業をされる方へのお願い

- 設置作業は、本体および冷却ユニットの重さを十分考慮のうえ、安全におこなってください。

型 式	組み上がり後の 総質量	冷却ユニットの 質量
ARV-8001TK	約380kg	約45kg
ARV-11001TK	約480kg	約45kg

警告



必ず実施

組立・設置は、パネルが転倒しないよう2人以上でおこなう。

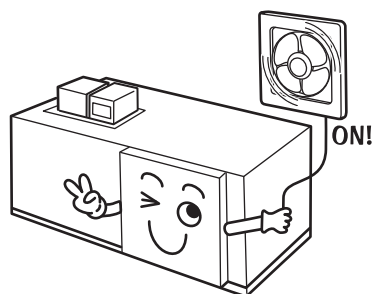
1人での組立・設置はケガの原因になります。

- 組立・設置完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、取扱説明書にしたがってお客様に使用方法、お手入れのしかた、保証書にしたがって修理規定の説明をしてください。
- 扉は常に施錠するように説明してください。子供が中に入り閉じ込められると、酸欠により死亡するなどの事故の原因になります。
- この組立・設置説明書は、取扱説明書、受領証と一緒にお客様が保管していただくことを説明してください。

設置スペースおよび設置時のご注意

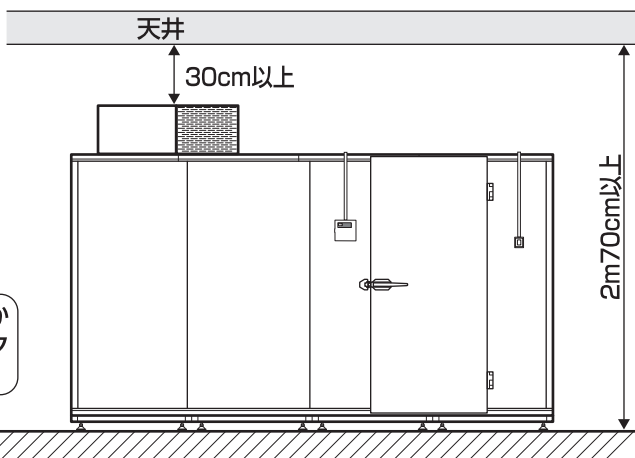
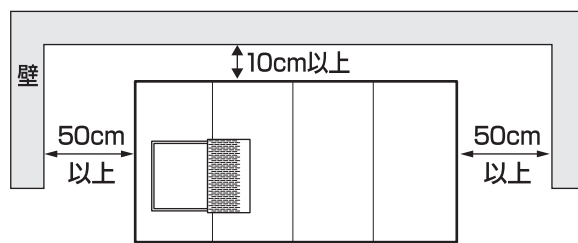
この製品を設置されるときは、下記事項を必ずお守りください。

- 冷却ユニットは放熱がありますので、壁から離して、風通しをよくしてください。
風通しが悪いと結露したり、冷却能力が低下します。
風通しが悪い場所・製品の周囲にスペースが取れない場所に設置するときは、必ず、換気装置を設けてください。



製品の周囲は、左右50cm、後面10cm、上面30cm以上のスペースを取ってください。

- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。直射日光のあたる場所に設置する時は、冷却能力の低下を防ぐため必ず日除けを設けてください。
- 周囲温度が35℃以上の場所に設置しないでください。周囲温度が35℃以上でも運転は起こりますが、冷却能力が低下して冷えない原因になります。また、保護装置が作動する場合があります。



平らでしっかりしたコンクリートの床

組立・設置に必要な主な工具

●必要な工具を準備してください。

- ・ ⊕ドライバー(2番・3番)
- ・ ラチェットハンドル
- ・ ソケット(13・17mm)
- ・ 電動ドライバー[⊕ のビット(2番)・ボックスビット(13mm)]
- ・ ⊖ドライバー
- ・ スパナ(13・19mm)
- ・ 電動ドリル(キリφ10)
- ・ 水平器(2個)
- ・ 踏み台(4台)
- ・ 面取りまたはやすり(バリ取り用)
- ・ コーキングガン
- ・ ウエス

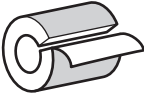
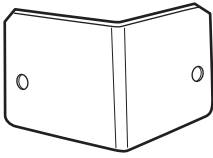

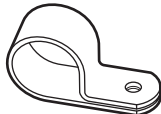
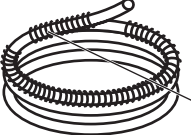
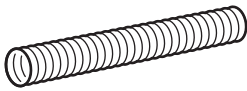

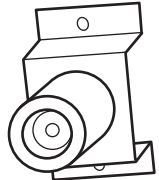
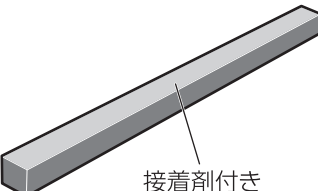
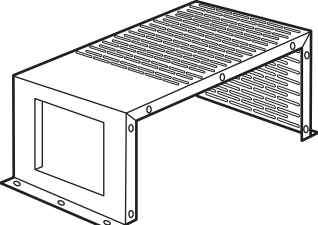
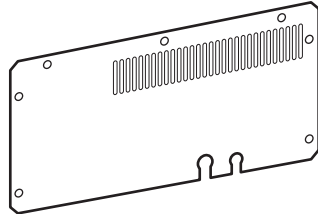
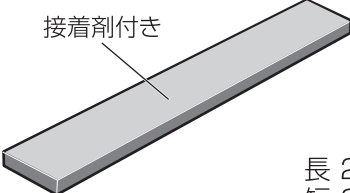
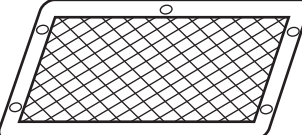
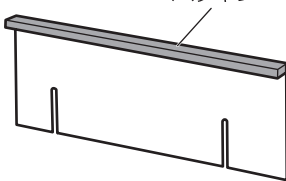
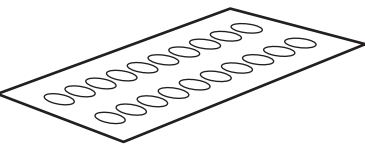

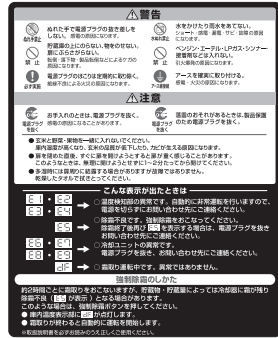

付属品の確認

●必要な部品がそろっていることを確認してください。

<p>冷却ユニット(型式 ARV-C90T)</p>  <p>1個</p>	<p>操作パネル取付板</p>  <p>1個</p>	<p>スノコ</p>  <p>ARV-8001TK 32枚 ARV-11001TK 44枚</p>		
<p>柱</p>  <p>ARV-8001TK 13個 ARV-11001TK 17個</p>	<p>間口モール</p>  <p>パッキン</p> <p>2個</p>	<p>庫内ダクト(板金製)</p>  <p>1個</p>		
<p>コーナーブラケット</p>  <p>8個</p>	<p>接続ブラケット(大)</p>  <p>ARV-8001TK 6個 ARV-11001TK 10個</p>	<p>接続ブラケット(間口)</p>  <p>1個</p>	<p>接続ブラケット(小)</p>  <p>3個</p>	
<p>安全押棒</p>  <p>1個</p>	<p>配線モール</p>  <p>2個</p>	<p>配線モール(コーナー)</p>  <p>2個</p>	<p>水平出し用金具</p>  <p>2個</p>	
<p>ヒンジセット</p>  <p>ヒンジカバー</p> <p>ヒンジピン</p> <p>固定カム</p> <p>ヒンジ</p> <p>2組</p>		<p>取っ手受け・取っ手</p>  <p>ツメ</p> <p>取っ手カバー</p> <p>各1個</p>		<p>キー (取っ手についています)</p>  <p>2個</p>

付属品の確認

●必要な部品がそろっていることを確認してください。

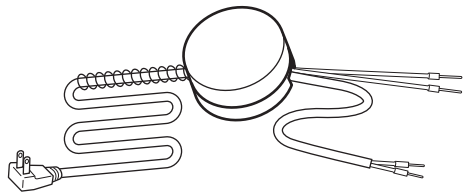
<p>パイプカバー</p>  <p>1個</p>	<p>架台コーナーガード</p>  <p>4個</p>	<p>グロメット(黒いゴム)</p>  <p>(大) 1個 (小) 1個</p>	<p>電源コードガード クランプ</p>  <p>4個</p>
<p>ドレンホース</p>  <p>1個</p>	<p>ホースガード(コイル) (ドレンホースに取り付けられています)</p>  <p>5個</p>	<p>ホースクランプ</p>  <p>7個(予備1個)</p>	<p>扉ストッパー (黒いゴム)</p>  <p>1個</p>
<p>ユニットベースパッキン</p>  <p>接着剤付き</p> <p>2個</p>	<p>ユニットカバー</p>  <p>1個</p>	<p>ユニットサイドカバー</p>  <p>1個</p>	
<p>シール用クッション (冷却ユニットに梱包されています)</p>  <p>接着剤付き</p> <p>長 2個 短 2個</p>	<p>庫内ダクトカバー</p>  <p>1個</p>	<p>庫内ダクト仕切板</p>  <p>パッキン</p> <p>1個</p>	
<p>穴埋めシール</p>  <p>1シート(20個)</p>	<p>安全押棒ラベル</p>  <p>1枚</p>	<p>警告ラベル</p>  <p>1枚</p>	
<p>ロゴラベル</p>  <p>1枚</p>	<p>定格ラベル</p>  <p>各1枚</p>		

付属品の確認(部品)

●必要な部品がそろっていることを確認してください。

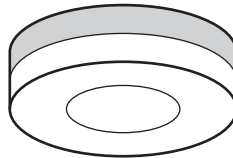
庫内灯に必要な部品

ジョイントボックス組



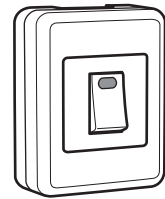
1個

庫内灯



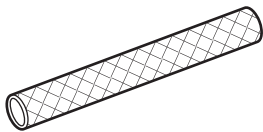
1個

スイッチ



1個

保護チューブ



2個

パテ



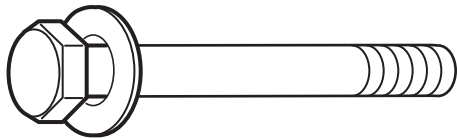
1個

付属品の確認(ネジ類)

●必要なネジ類がそろっていることを確認してください。

架台用のネジ類

架台連結ボルト・平座金



径 長さ ARV-8001TK 8個
12mm×120mm ARV-11001TK 12個

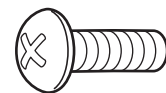
架台連結ナット



ARV-8001TK 8個
ARV-11001TK 12個

タップネジ(5mm)

架台コーナーガード 8個

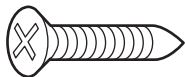


径 長さ
5mm×12mm 8個

庫内灯用のネジ類

サラタッピンネジ

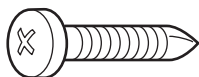
ジョイントボックス 2個
スイッチ 2個



径 長さ
4mm×20mm 4個

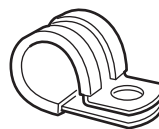
ドリルネジ(短)

庫内灯 2個
電源コードクランプ 1個
電源コードガードクランプ 2個



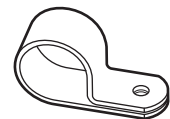
径 長さ
4mm×20mm 5個

電源コードクランプ



1個

電源コードガードクランプ



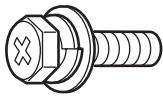
2個

付属品の確認(ネジ類)

●必要なネジ類がそろっていることを確認してください。

六角ボルト(M6)

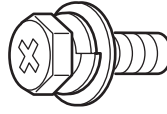
ヒンジ扉側 2個



径 長さ
6mm×18mm 2個

六角ボルト(M8)

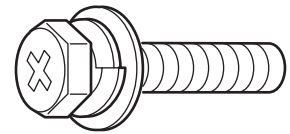
	ARV-8001TK	ARV-11001TK
コーナーブラケット	24個	24個
接続ブラケット(大)	18個	30個
接続ブラケット(小)	6個	6個
予備	2個	2個



径 長さ
8mm×16mm ARV-8001TK 50個
ARV-11001TK 62個

六角ボルト(M10)

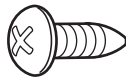
冷却ユニット 4個



径 長さ
10mm×30mm 4個

タッピンネジ

	ARV-8001TK	ARV-11001TK
ユニットカバー	6個	6個
ユニットサイドカバー	7個	7個
操作パネル取付板	3個	3個
扉ストッパー	4個	4個
柱	52個	68個
庫内ダクト仕切板	2個	2個
予備	2個	2個



径 長さ
4mm×8mm ARV-8001TK 76個
ARV-11001TK 92個

ナベコネジ(M4)

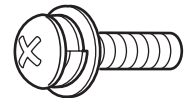
庫内ダクト 4個
安全押棒 3個



径 長さ
4mm×10mm 7個

ナベコネジ(M5)

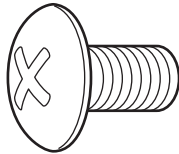
ヒンジ扉側 4個



径 長さ
5mm×18mm 4個

トラスコネジ(M8)

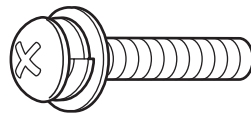
接続ブラケット(間口) 2個



径 長さ
8mm×12mm 2個

ナベコネジ(M6)

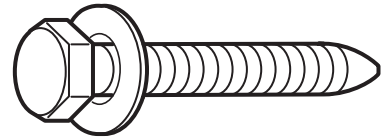
取っ手 4個
取っ手受け 2個



径 長さ
6mm×25mm 6個

コーチスクリュー・平座金

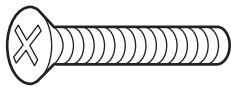
	ARV-8001TK	ARV-11001TK
天井パネルの固定	9個	10個



径 長さ
9mm×65mm ARV-8001TK 9個
ARV-11001TK 10個

サラコネジ(M6)

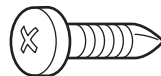
ヒンジ本体側 4個



径 長さ
6mm×25mm 4個

ドリルネジ(短)

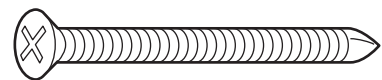
ホースクランプ	14個
電源コードガードクランプ	4個
庫内ダクトカバー	5個
予備	2個



径 長さ
4mm×13mm 25個

サラドリルネジ

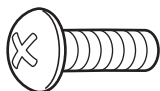
	ARV-8001TK	ARV-11001TK
床パネルの固定	10個	12個



径 長さ
4mm×60mm ARV-8001TK 10個
ARV-11001TK 12個

タップネジ(5mm)

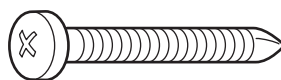
扉合わせ 6個
左扉ストッパー 4個



径 長さ
5mm×12mm 10個

ドリルネジ(長)

	ARV-8001TK	ARV-11001TK
パネルの連結	18個	26個
予備	2個	2個



径 長さ
4mm×30mm ARV-8001TK 20個
ARV-11001TK 28個

パネル類の確認

●必要な架台・扉・パネルがそろっていることを確認してください。

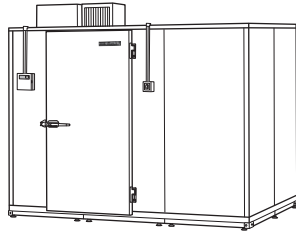
		ARV-11001TK用 ①+②+③			組立てに必要なパネルの枚数	
		ARV-8001TK用 ①+②			ARV-8001TK (①+②)	ARV-11001TK (①+②+③)
		パネルセット① (AR-P8000Y)	パネルセット② (ARVP8001S)	パネルセット③ (AR-P1100P)		
架台		2枚	1枚	1枚	3枚	4枚
扉		—	1枚	—	1枚	1枚
パ ネ ル	床(左)パネル	1枚	—	—	1枚	1枚
	床(中)パネル	1枚	—	1枚	1枚	2枚
	床(右)パネル	1枚	—	—	1枚	1枚
	天井(左)パネル	1枚	—	—	1枚	1枚
	天井(中)パネル	1枚	—	—	1枚	1枚
	天井(中-穴なし)パネル	—	—	1枚	—	1枚
	天井(右)パネル	1枚	—	—	1枚	1枚
	側面(前)パネル	—	2枚	—	2枚	2枚
	側面(後)パネル	—	2枚	—	2枚	2枚
	背面(左)パネル	—	2枚	—	2枚	2枚
	背面(中)パネル	—	1枚	2枚	1枚	3枚
	背面(右)パネル	—	1枚	—	1枚	1枚
	正面(左)パネル	—	1枚	—	1枚	1枚
正面(右)パネル	—	1枚	—	1枚	1枚	
パネル合計		6枚	10枚	4枚	16枚	20枚

組立・設置をする前に

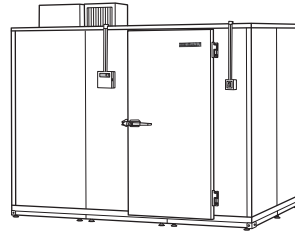
- この製品は、扉の位置を選択することができます。
- 扉の位置によって、パネルの組み付け位置、手順が異なりますので、必ず組み立てを始める前にお客様に確認した上で、組み立てをおこなってください。

ARV-8001TK

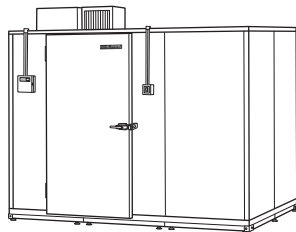
扉位置左(右開き)



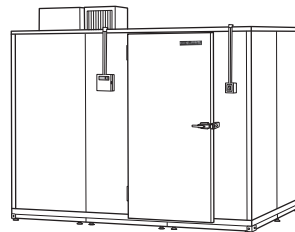
扉位置右(右開き)



扉位置左(左開き)

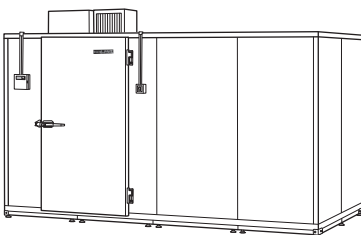


扉位置右(左開き)

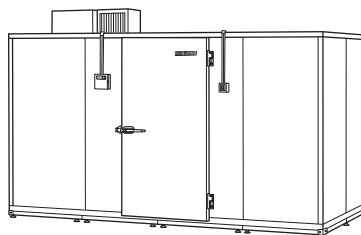


ARV-11001TK

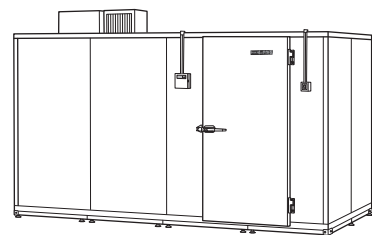
扉位置左(右開き)



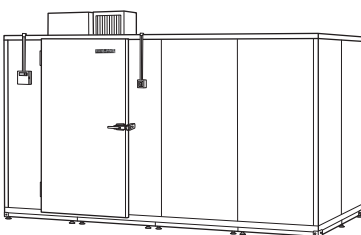
扉位置中(右開き)



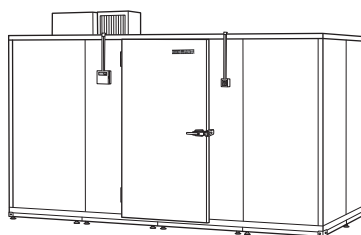
扉位置右(右開き)



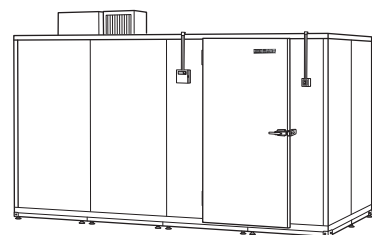
扉位置左(左開き)



扉位置中(左開き)



扉位置右(左開き)



製造No.の記入について

組立・設置をする前に本体・冷却ユニット・付属品セットの製造No.を受領証に必ず控えてください。
製造No.は、下記の場所に表示されています。

本 体	冷却ユニット	付属品セット
扉内側に貼付する定格ラベル	冷却ユニットに貼付のラベル	梱包箱のスタンプ印

タッピンネジの締め付けについて

ドライバーでしっかり締め付けます。
タッピンネジは、大きなトルクで締め付けるとカラ回りするおそれがありますので、電動ドライバーを使用するときは、トルク1.47N・m(15kgf-cm)以下でおこなってください。

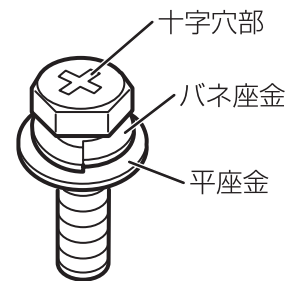
六角ボルトの締め付けについて

●仮締めの方法

ドライバーまたは手で2～3回転ねじ込んでから電動ドライバー(+ビット〔2番〕またはボックスビット〔13mm〕)で軽く締め付けてください。はじめから電動ドライバーで締め付けるとボルトがななめに入って回らなくなったり、十字穴部がつぶれるおそれがあります。

●本締めの方法

バネ座金がつぶれるところまでスパナで締め付けてください。強く締めすぎるとネジ部を切断するおそれがあります。また電動ドライバーを使用すると十字穴部がつぶれるおそれがあります。

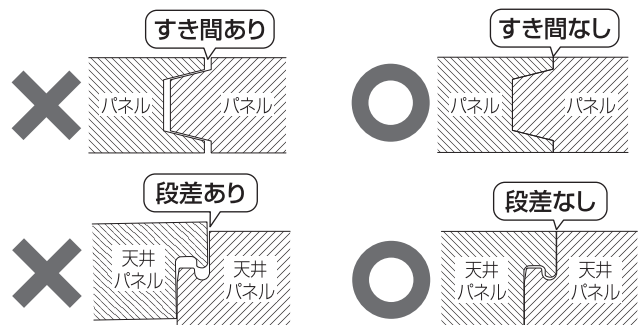


パネルの組み付けについて

パネルを組み付けた後、パネルの結合部にすき間がないことを確認してください。

すき間があると、庫内の冷気がもれ、庫内が充分冷えなかったり結露の原因になります。

床および天井パネルは、段差がないことを確認してください。



三相200V仕様の電源プラグについて

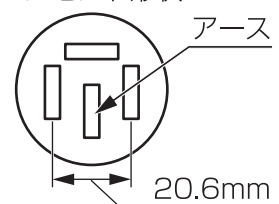
三相200V仕様の電源プラグは接地極(アース)付き3極(20A 250V)を使用しています。

電源プラグに合ったコンセントがないときは、電気工事店へ依頼してコンセントを取り付けてください。

電源配線が逆相のときはコンプレッサーの保護のため、逆相防止機能が働き、庫内温度表示部に **88** を点滅表示します。

このときは配線を入れ替えてください。(P.17をご覧ください。)

コンセント形状



組立

組立時には重量物を扱うため、手袋・ヘルメット・安全靴を着用してください。
また、パネルの名称ラベルを貼ってある面が庫内側になります。

1 架台の組立・設置をおこなう。

必要なネジ	ARV-8001TK	ARV-11001TK
架台連結ボルト(平座金)	8個	12個
架台連結ナット	8個	12個
タップネジ(5mm)	8個	8個

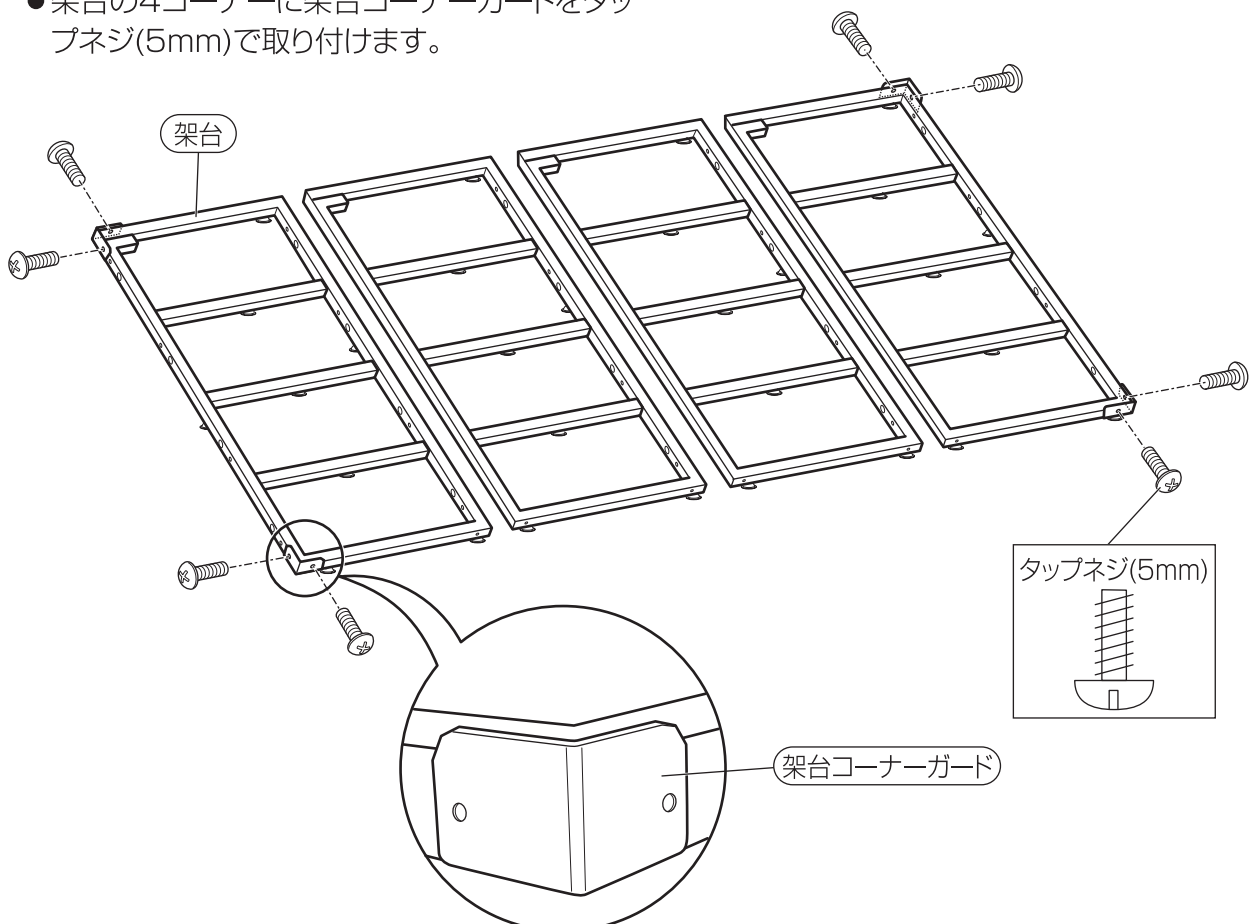
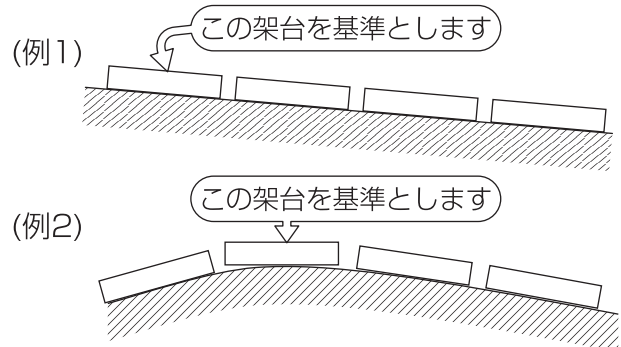
⊕ドライバー(2番)または電動ドライバー
⊖ドライバー・スパナ(19mm)
ラチェットハンドル・ソケット(17mm)
水平器(2個)使用

●説明・イラストはARV-11001TKですが、ARV-8001TKも同じ要領で組み立てます。

重要

●架台の組立・水平出しは慎重に作業をおこなう。
パネルを取り付けたときにすき間ができる原因になります。

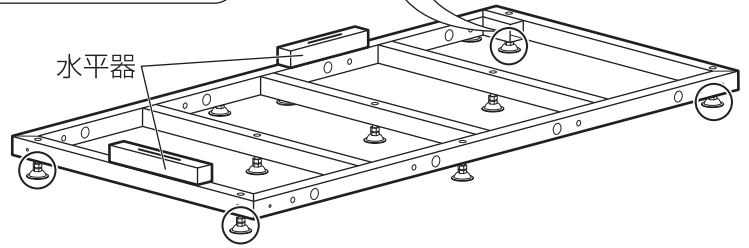
- 1 設置場所に置く前に架台にアジャスターを取り付けます。
〔ARV-8001TK：18個、ARV-11001TK：27個〕
※アジャスターはパネルセットに梱包されています。
- 2 設置場所を確認し、架台を並べ、一番高い架台を基準とします。
※右のイラストは極端な例で描いています。
- 3 架台コーナーガードを取り付けます。
 - 架台の4コーナーに架台コーナーガードをタップネジ(5mm)で取り付けます。



- 4 基準となる架台(1枚)の一番高いコーナーを把握し、そこを基準に他3コーナーのアジャスターを調節し、水平器で確認しながら水平出しをおこないます。(他5カ所のアジャスターは最後に調節します。)

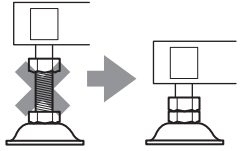
外枠のパイプの上に置き、水平を確認します。

この曲げがある方が後側



重要

基準となるアジャスターは短くする。



注意



アジャスターの最大調節高さ50mm以上に伸ばさない。

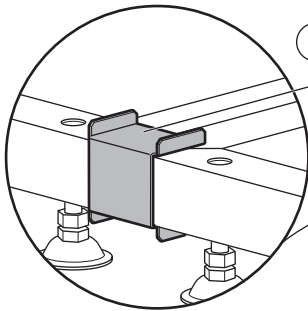
禁止

はずれると製品転倒などによる、ケガの原因や本体がゆがむなどして冷却性能を損なう原因になることがあります。

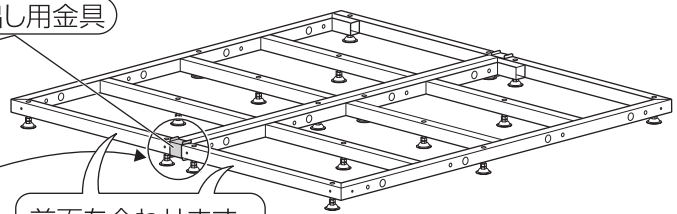
- 5 水平出しをおこなった架台の上に乗る、浮きのないことを確認します。

- 6 水平出しをおこなった架台の隣に、次の架台を置き、連結部の両端に水平出し用金具を入れ、ある程度上面を合わせてから、架台連結ボルト(平座金)と架台連結ナットで仮締めをします。

水平出し用金具



前面を合わせます。

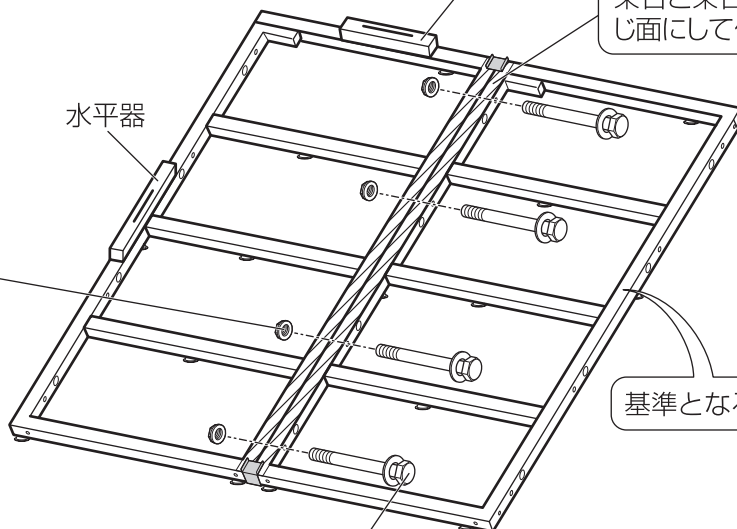
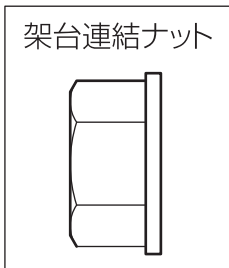


水平器

架台と架台の連結部を同じ面にして仮締めします。

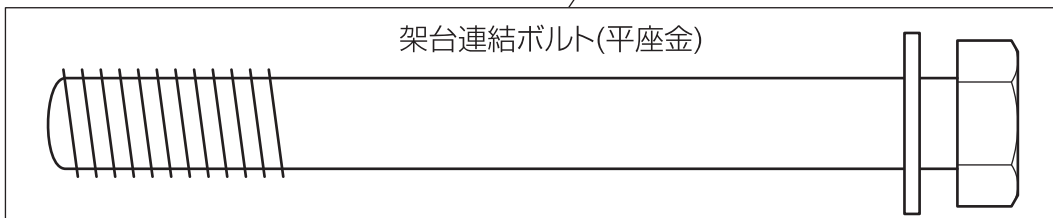
水平器

架台連結ナット



基準となる架台

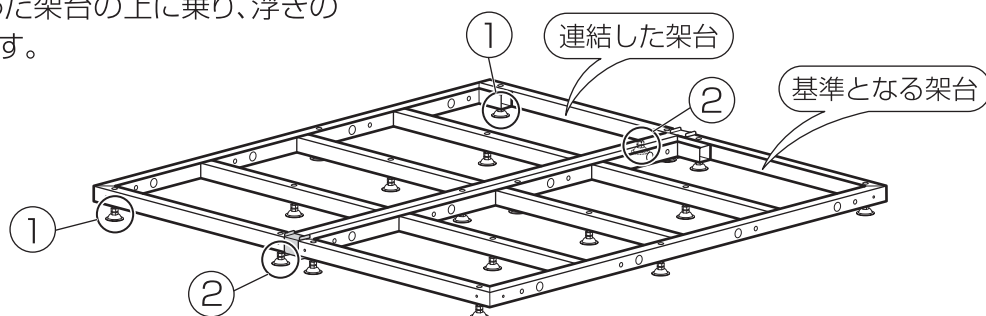
架台連結ボルト(平座金)



- 7** 連結した架台の4コーナーのアジャスターを調節し、水平器で確認しながら水平出しをおこないます。
- (1) 連結した架台の外側2コーナーのアジャスター①を調節し、水平器で確認しながら水平出しをおこないます。
- (2) ②のアジャスターを軽く抵抗がかかるまで伸ばします。
- (3) 水平出し用金具を取りはずし、基準となる架台と連結した架台の結合部上面が水平であることを確認してから架台連結ナットを本締めします。

基準となる架台と連結した架台に水平器をわたしてガタつきがないか確認してください。ガタつきがあるときは②のアジャスターで調節をおこないます。

- (4) 水平出しをおこなった架台の上に乗る、浮きのないことを確認します。

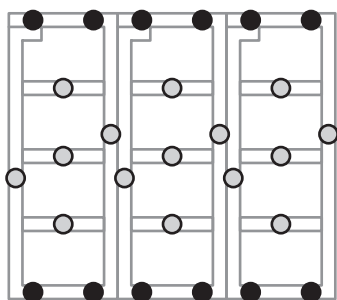


- 8** 同じ要領で架台を連結し、水平出しをおこないます。
〔ARV-8001TK：3個、ARV-11001TK：4個〕
- 9** それぞれの架台の調節をしていないアジャスターを軽く抵抗がかかるまで伸ばします。
- 10** 全体の水平を水平器で確認します。
- 11** 全てのアジャスターのロックナットを固定します。
〔ARV-8001TK：27本、ARV-11001TK：36本〕

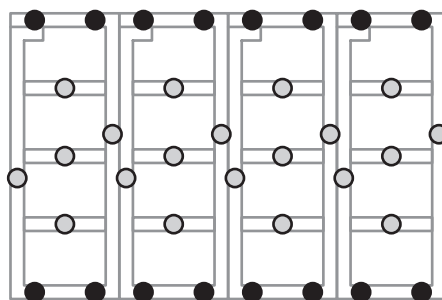
アジャスター調節順序

- 各架台水平出し時に調節するアジャスター
- 架台連結後、最後に調節するアジャスター

ARV-8001TK

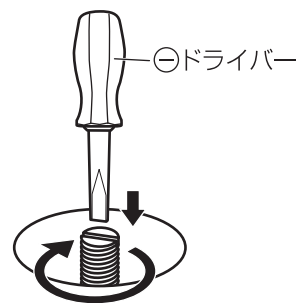


ARV-11001TK



アジャスターのネジ部先端の一溝に⊖ドライバーを入れて、アジャスターの底面が設置面にあたるまで伸ばします。

アジャスターを伸ばすとき：「時計回り」の方向に回します。
アジャスターを縮めるとき：「反時計回り」の方向に回します。



2 床パネルを架台に固定する。

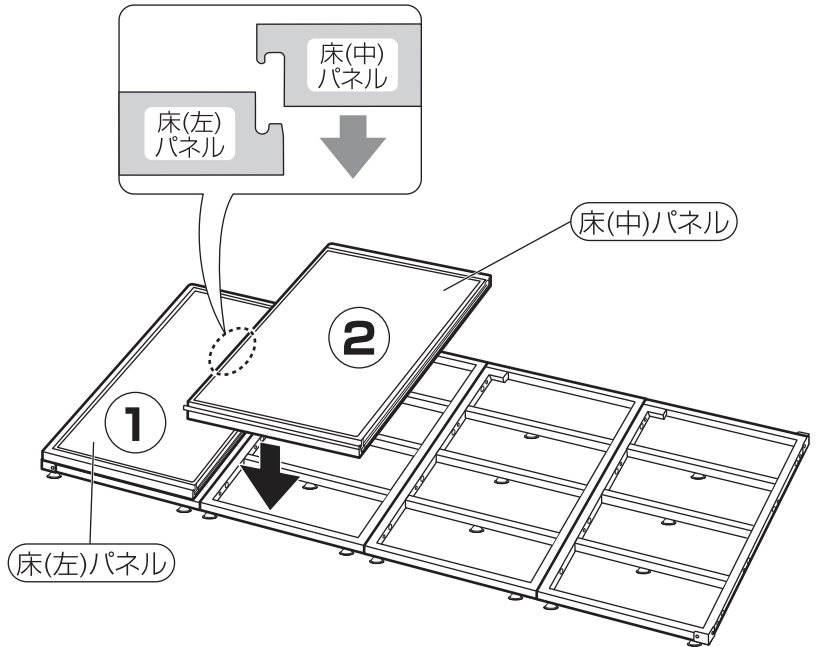
必要なネジ	ARV-8001TK	ARV-11001TK
サラドリルネジ	10個	12個

電動ドライバー使用

- 1 床(左)パネルを架台の上に置きます。

必ず左から置いてください。右から置くと組み立てができません。

- 2 床(左)パネルの溝(□)部に床(中)パネルの凸部(□)を入れて、床(中)パネルを置きます。(ARV-11001TKには床(中)パネルが2枚あります。どちらを先に組み付けても問題ありません。)

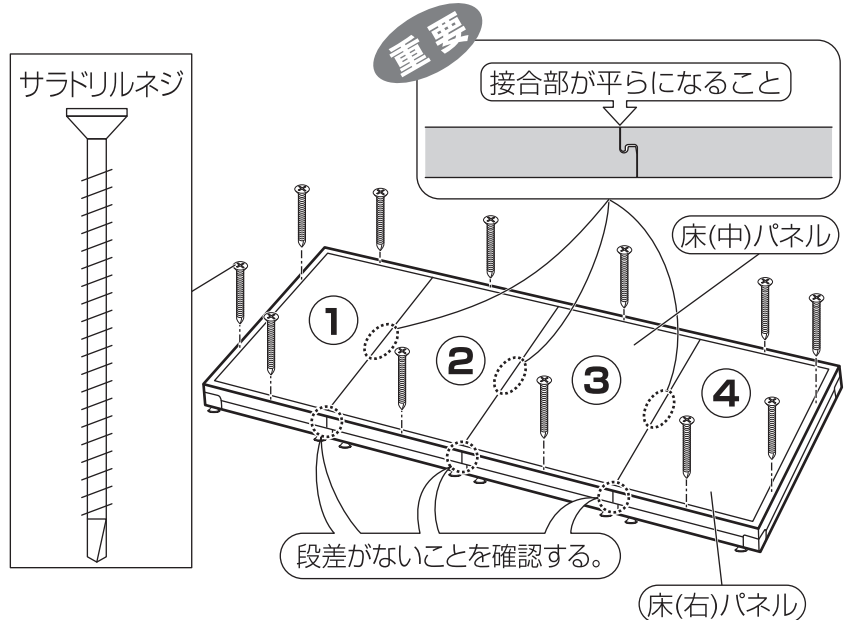


- 3 同じ要領で床(右)パネルを置きます。

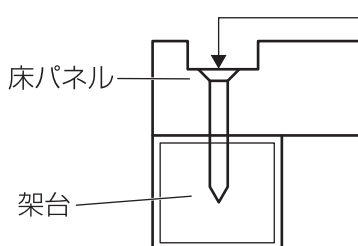
- 4 床パネルの接合部が平らになるように押し込みます。

- 5 床パネルの前側と接合部に段差がないことを確認し、床パネルの溝の下穴に合わせ、サラドリルネジで架台に固定します。

架台をサラドリルネジで固定するとき、床パネルが浮き上がることがありますので、このようなときは、床パネルの上に乗って固定してください。



サラドリルネジの締め付けについて



溝の底面よりネジの頭が出ないようにねじ込む。(締め過ぎに注意)

※ネジの頭が出ているとパネルを組み付けたときにネジの頭とパネルの凸部があたってしまいパネルの結合部にすき間ができてしまいます。

このすき間から庫内の冷気がもれ、庫内が十分に冷えなかったり結露の原因になります。

3 パネルを取り付ける。

必要なネジ	ARV-8001TK	ARV-11001TK
六角ボルト(M8)	48個	60個
トラスコネジ(M8)	2個	2個

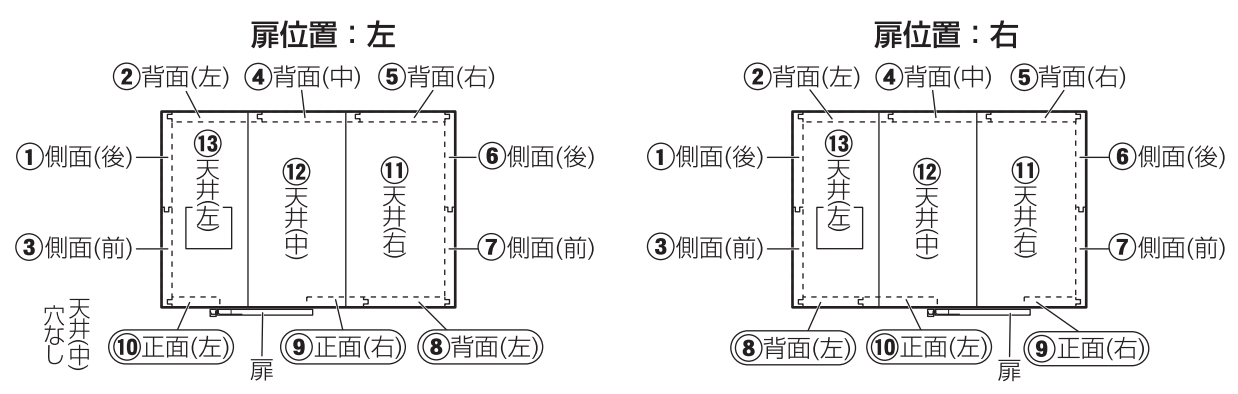
⊕ドライバー(3番)・電動ドライバー
ボックスビット(13mm)
ラチェットハンドル
ソケット(13mm)使用

●説明・イラストは左側面側からの順番になっていますが、右側面側から組立てするときも同じ要領で組立てすることができます。

パネル取付順序

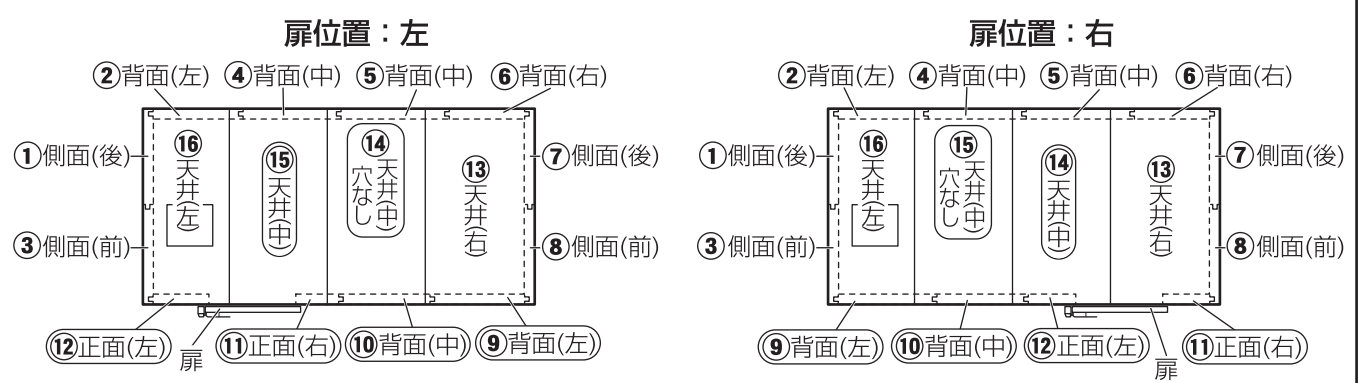
※丸数字(例：①)は、パネル取り付け順序を示しています。
※下のイラストは「右開き仕様」の製品を上から見たところを示しています。

ARV-8001TK 正面側のパネル(⑧⑨⑩)の位置が異なります。



扉左開き仕様 扉を左開きにするときは、⑨正面(右)と⑩正面(左)パネルを入れ替えます。

ARV-11001TK 正面側のパネル(⑨⑩⑪⑫)と天井側のパネル(⑭⑮)の位置が異なります。



扉左開き仕様
扉を左開きにするときは、⑪正面(右)と⑫正面(左)パネルを入れ替えます。

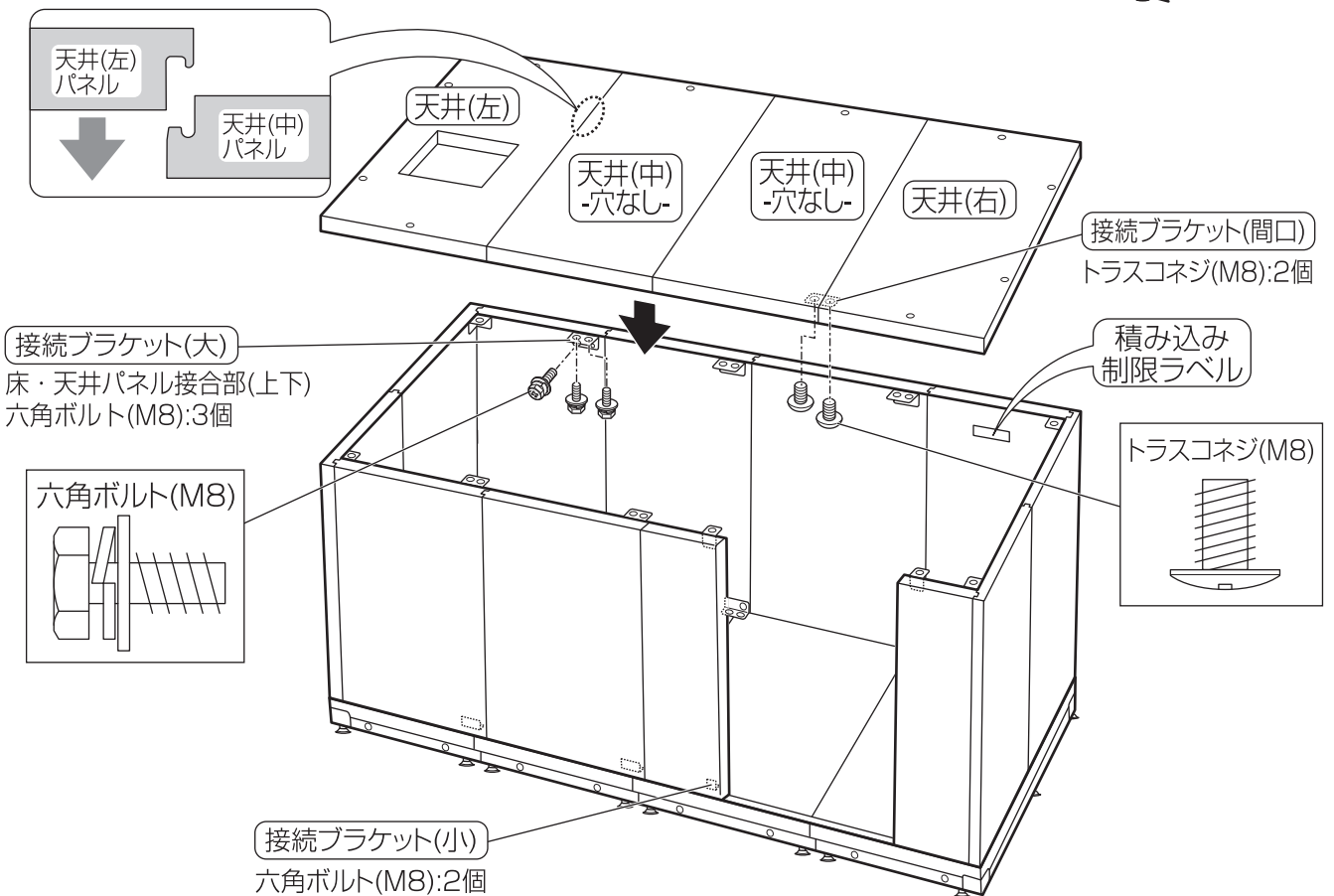
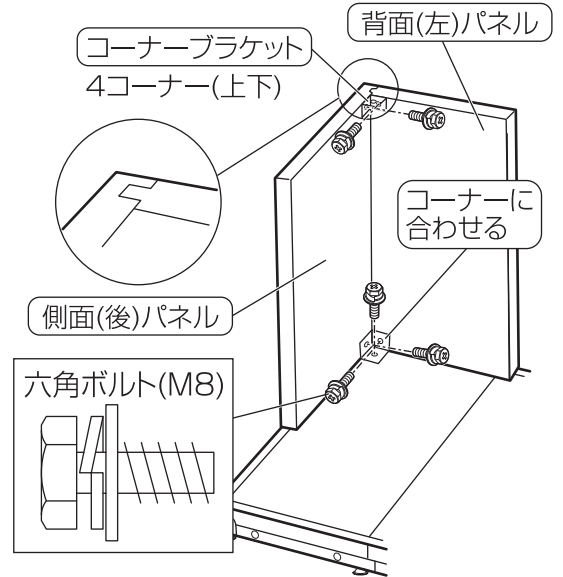
- ❶ 床パネルに側面(後)パネル・背面(左)パネルの順に取り付けます。各パネルの凸部を床パネルの溝(凹部)に入れて立てます。
※床パネルが動かないように注意してください。
- ❷ コーナーブラケットを床側と天井側に、六角ボルト(M8)で仮締めします。
- ❸ 各パネルを前ページの順番に床パネルに取り付けます。各コーナー部は❷の要領でコーナーブラケットを六角ボルト(M8)で仮締めします。

パネルが不安定なので、一人はブラケットを仮締めするまでおさえていてください。

	ARV-8001TK	ARV-11001TK
コーナーブラケット	8カ所	8カ所
接続ブラケット(大)	6カ所	10カ所
接続ブラケット(小)	3カ所	3カ所
接続ブラケット(間口)	1カ所	1カ所

- ❹ 天井パネルを前ページの順番に取り付けます。天井パネルの溝(凹部)に各パネルの凸部を入れ、コーナーブラケットを六角ボルト(M8)で仮締めします。
- ❺ 各パネルの位置を出し、床パネルと天井パネルに接続ブラケット(大)・接続ブラケット(小)を六角ボルト(M8)で、接続ブラケット(間口)をトラスコネジ(M8)で仮締めします。
- ❻ 全ての六角ボルト(M8)を本締めします。

※下図はARV-11001TK 扉位置:右を示しています。
ARV-8001TKやARV-11001TK 扉位置:左・中についてもP.14を参考に組み付けしてください。



ARV-8001TK: 扉位置左、
ARV-11001TK: 扉位置左は天井側2カ所、
その他の扉位置では天井側2カ所、
床側1カ所取り付けます。

4 パネルを連結する。

必要なネジ	ARV-8001TK	ARV-11001TK
ドリルネジ(長)	18個	26個

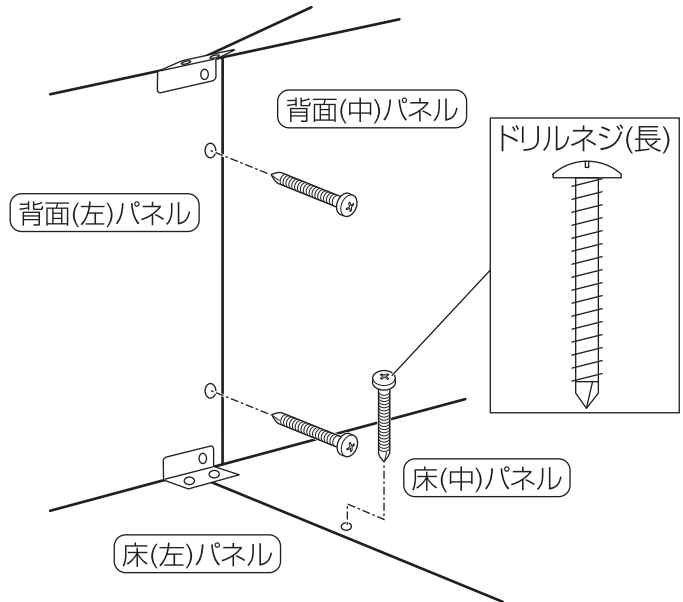
電動ドライバー使用

- 各パネルの接合部を庫内側から下穴に合わせてドリルネジ(長)で固定します。
(1接合部に2カ所)

	ARV-8001TK	ARV-11001TK
天井パネル	4カ所	6カ所
床パネル	4カ所	6カ所
側面パネル	4カ所	4カ所
背面パネル	4カ所	6カ所
正面パネル	2カ所	4カ所
合計	18カ所	26カ所

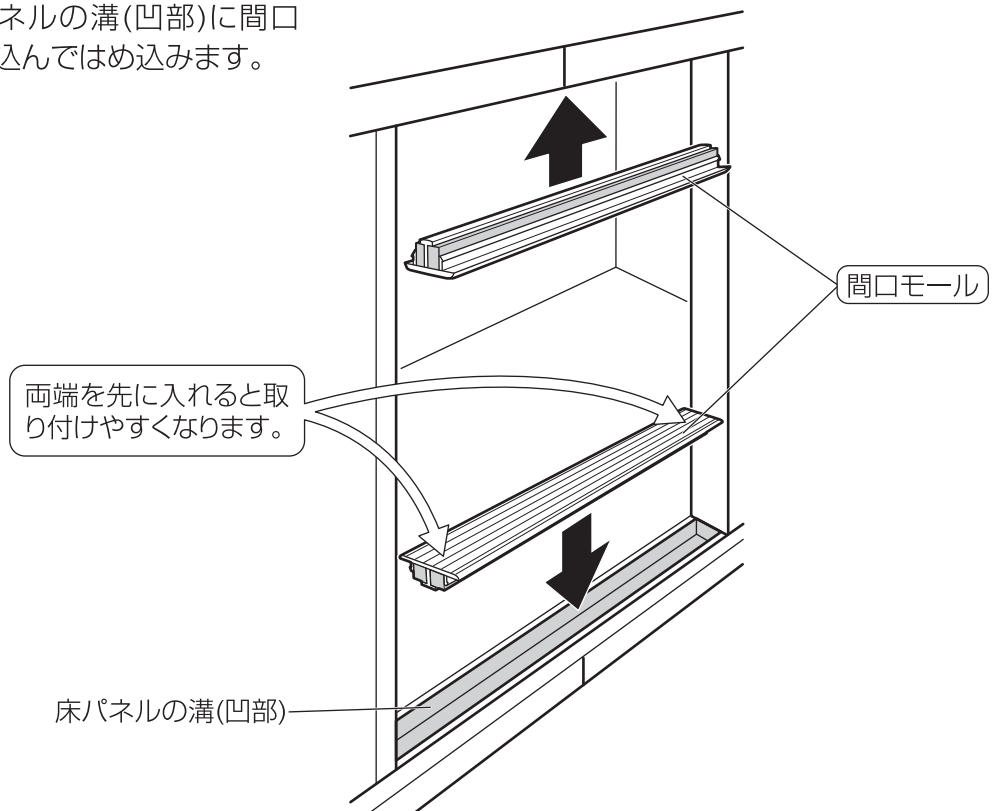
ドリルネジの締め付けかた

ネジを空回りさせないために、ドリルネジがパネルに食い込んだところでいったん電動ドライバーを止めて、あとは少しずつ締め付けます。



5 間口モールを取り付ける。

- 床パネル・天井パネルの溝(凹部)に間口モールを強く押し込んでめ込みます。



6 冷却ユニットの配線の確認をおこなう。

⊕ドライバー(2番)使用

冷却ユニットのコンプレッサーはロータリー式で、回転方向が一定です。

逆転防止のため、本機には逆相運転防止器を搭載しています。逆相運転防止器が作動すると、操作部の運転スイッチの「入」「切」に関係なく、庫内温度表示部に「88」が点滅表示されます。このときは、三相電源(現地配線側)が逆相ですので相の入れかえが必要です。

冷却ユニットをのせた後、ユニット側の配線を変えることもできますが、狭い空間での作業はしにくいので、あらかじめ確認してください。

- 運転スイッチが「切」であることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込みます。

庫内温度表示部に何も表示されないとき

三相電源の配線が正常ですので、電源プラグをコンセントから抜いて、P.18の7に進んでください。

庫内温度表示部に「88」が点滅表示されたとき

配電盤の配線が逆相になっています。冷却ユニットの電源コードの配線を下記の手順で入れかえてください。

- 1 運転スイッチが「切」であることを確認して、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

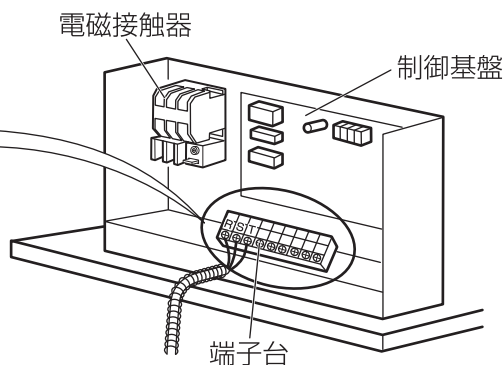
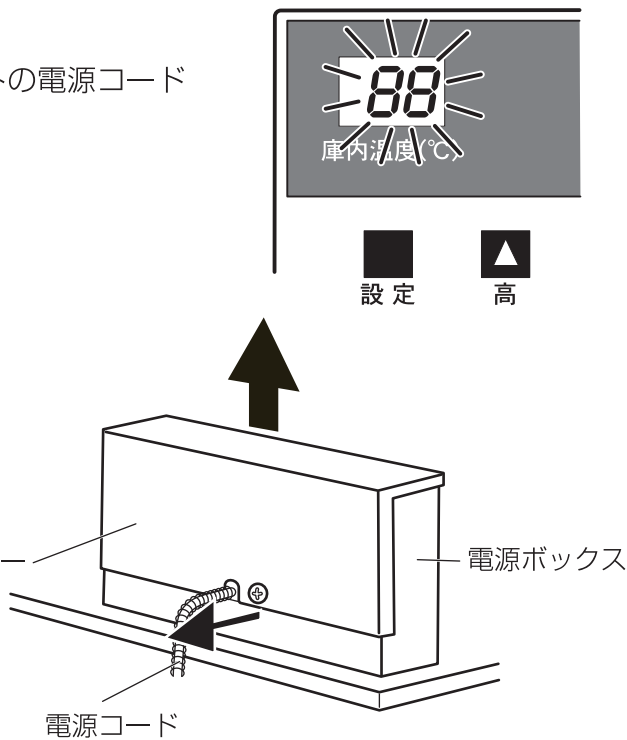
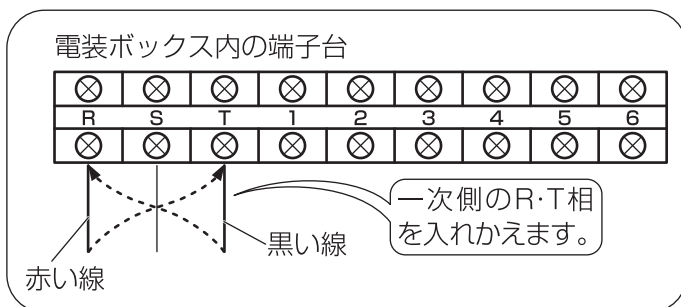
警告



必ず実施

電源プラグを必ずコンセントから抜く。
電源プラグがコンセントに差し込まれていると端子台に200Vが通電され、感電の原因になります。

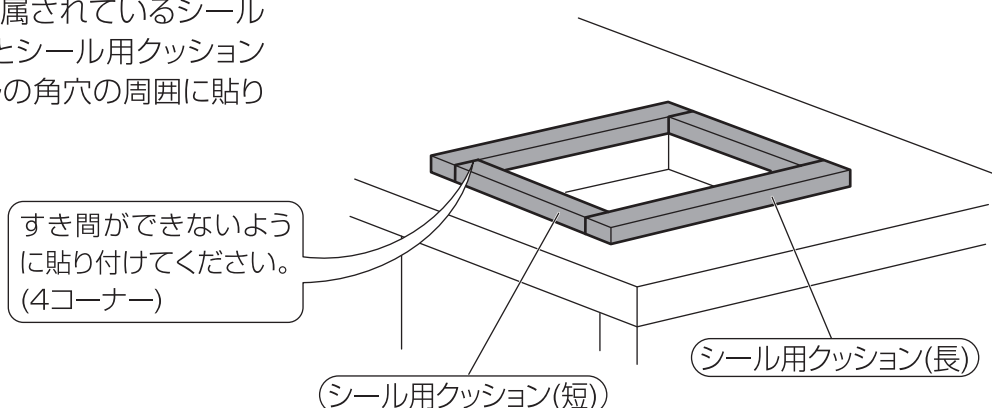
- 2 冷却ユニットの電源ボックスのネジをはずし、カバーを取りはずします。
- 3 電装ボックス内の端子台の一次側のR相とT相を入れかえます。(赤い線と黒い線を入れかえます。)



- 4 カバーを取りはずしたネジで元通りに固定します。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込み、庫内温度表示部に何も表示されなければ完了ですので、電源プラグをコンセントから抜いてP.18の7に進んでください。

7 シール用クッションを貼り付ける。

- 冷却ユニットに付属されているシール用クッション(長)とシール用クッション(短)を天井パネルの角穴の周囲に貼り付けます。



8 冷却ユニットを取り付ける。

必要なネジ 六角ボルト(M10) 4個

⊕ドライバー(3番)・ラチェットハンドル・ソケット(17mm)使用

- 1 天井パネルの上に冷却ユニットをのせます。
- 2 冷却ユニットを六角ボルト(M10)で固定します。(4カ所)

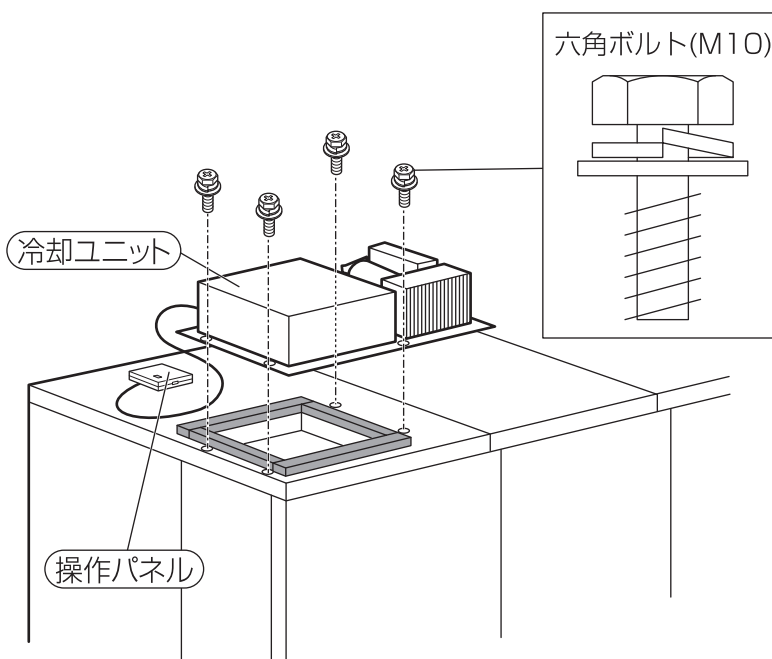
重要

- 冷却ユニットを取り扱うときは、フィンに手をふれないでください。フィンが曲がり、冷却能力が低下します。
- 冷却ユニットは静かにのせ、引きずらないでください。冷却ユニットが損傷したり、天井パネルに傷がつきます。
- 冷却ユニットは逆さにしたり横にしたりしないでください。機能に支障が出るおそれがあります。
- 落下したものは使用しないでください。冷媒もれにより庫内が冷えなかったり、故障の原因になります。
- 操作パネルを落としたりぶつけないでください。故障の原因になります。

警告

- ❗ 冷却ユニットを載せるときは、必ず2人以上でおこない、足元を充分確認したうえで声を掛け合っておこなう。必ず実施
- 1人での作業はケガの原因になります。

冷却ユニットの質量 45kg



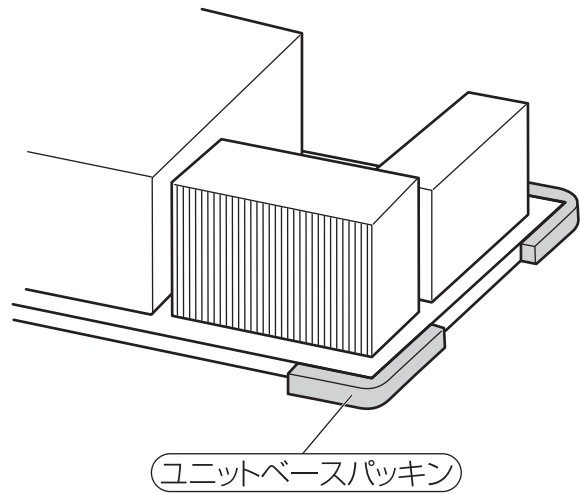
9 ユニットカバー・ユニットサイドカバーを取り付ける。

必要なネジ | タッピンネジ | 13個

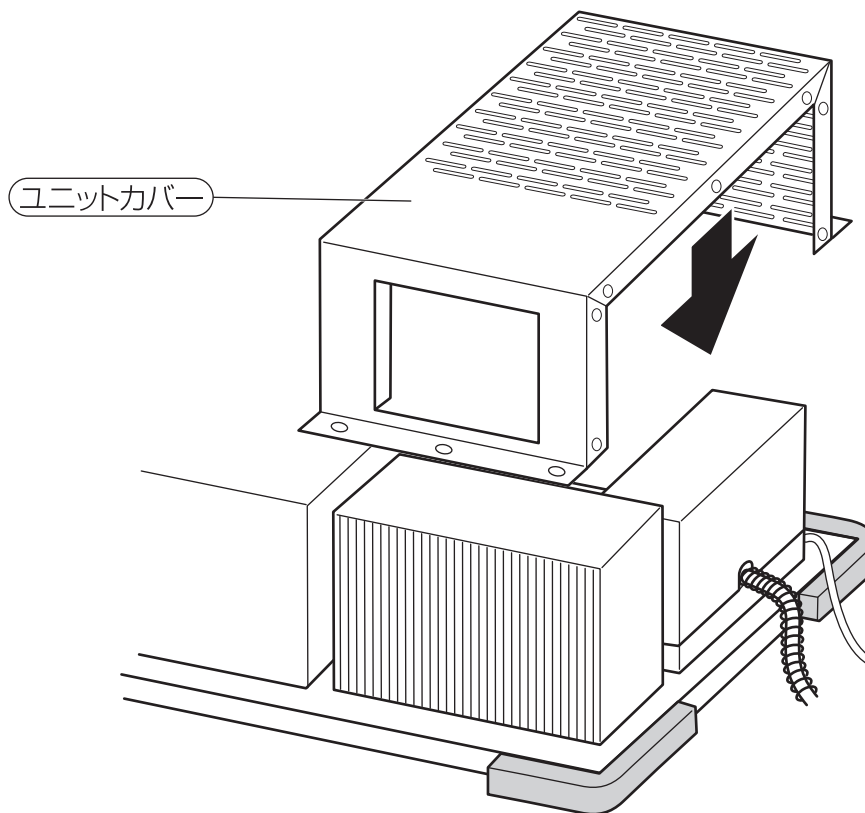
⊕ ドライバー(2番)または電動ドライバー使用

- 1 冷却ユニットのベースのコーナー2カ所にユニットベースパッキンを貼り付けます。

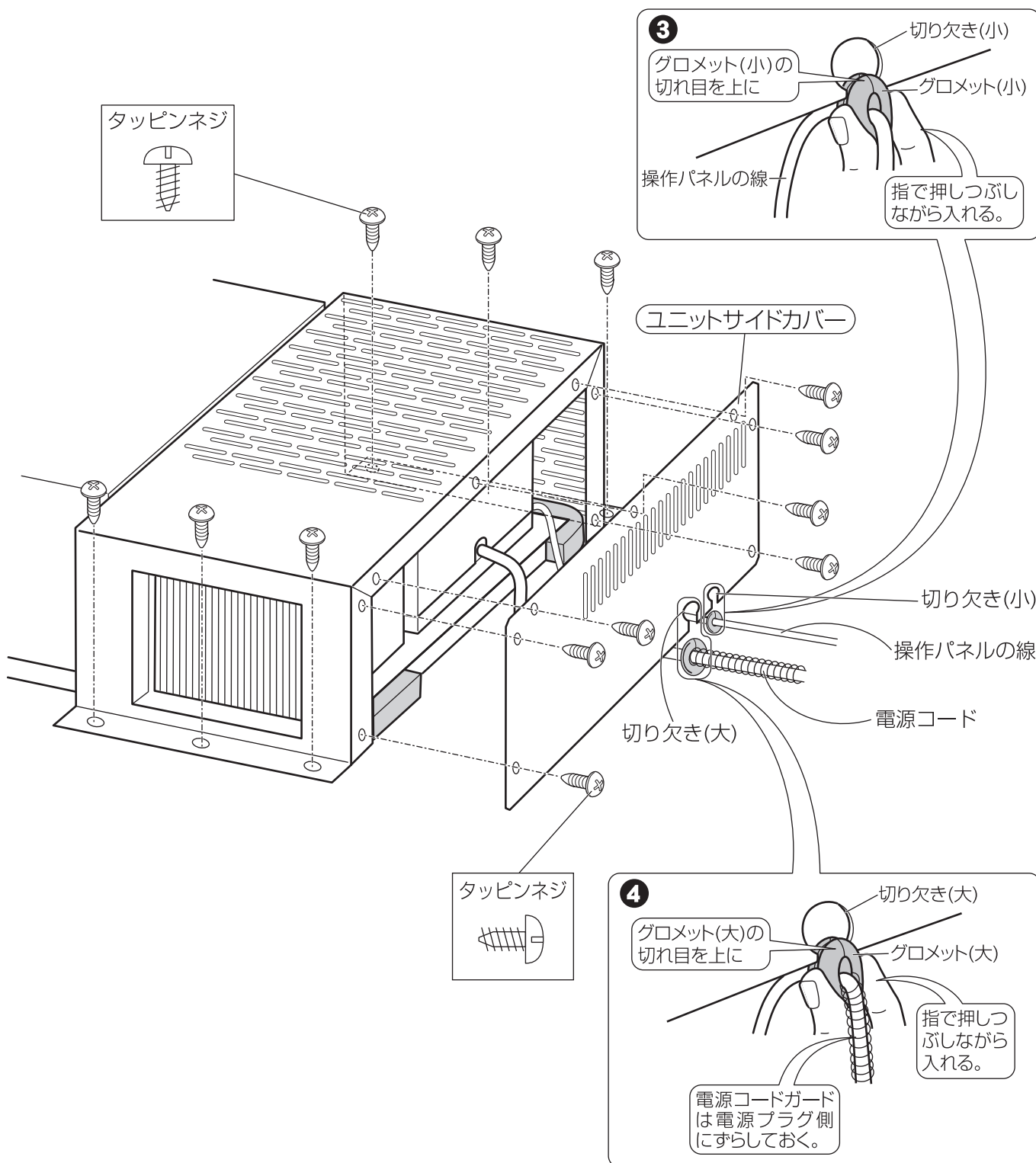
ユニットベースパッキンはユニットカバーを取り付けたときのビビリ音を防ぐための部品です。



- 2 冷却ユニットにユニットカバーをかぶせます。



- ③ グロメット(小)の切れ目から操作パネルの線を入れ、ユニットサイドカバーの切り欠き(小)にはめ込みます。
- ④ グロメット(大)の切れ目から電源コードを入れ、ユニットサイドカバーの切り欠き(大)にはめ込みます。
- ⑤ ユニットサイドカバーの穴とユニットカバーの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(7カ所)
- ⑥ ユニットカバーのコーナーをユニットベースパッキンに突き当て、天井パネルへタッピンネジで固定します。(6カ所)

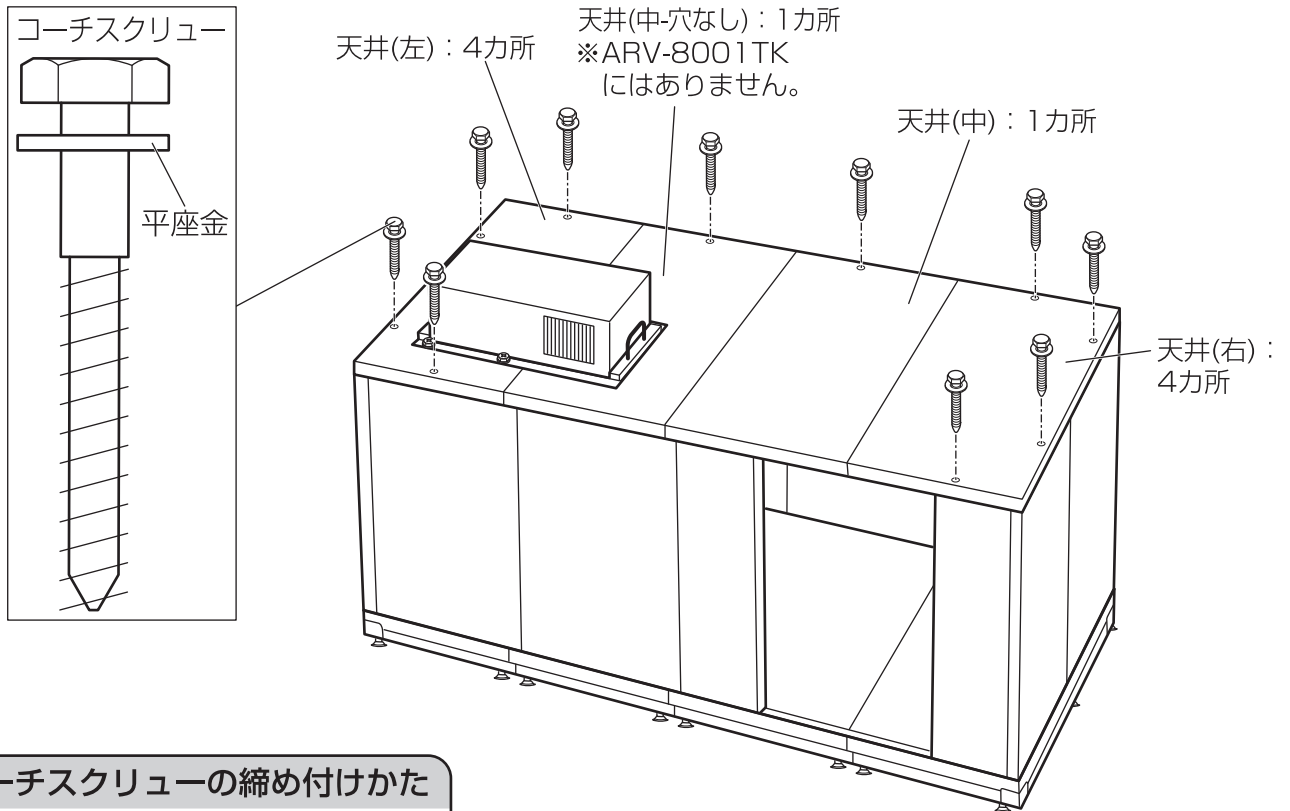


10 天井パネルをコーチスクリュー(平座金)で固定する。

必要なネジ	ARV-8001TK	ARV-11001TK
コーチスクリュー(平座金)	9個	10個

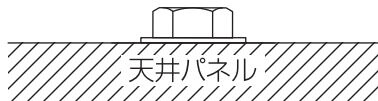
ラチェットハンドル・ソケット(17mm)使用

- ① 天井パネルをコーチスクリューと平座金で固定します。
 ・ ARV-8001TK…9カ所 ・ ARV-11001TK…10カ所



コーチスクリューの締め付けかた

コーチスクリューは締めすぎないように注意してください。
 締め過ぎるとパネルが変形したりネジが空回りすることがあります。
 コーチスクリューの頭と平座金が密着したら締め付けをやめます。



11 庫内灯を取り付ける。

必要なネジ	サラタッピンネジ	4個
	ドリルネジ(短)	5個

電動ドリル(キリφ10)・面取り・
 ⊕ドライバーまたは電動ドライバー
 (⊕のビット(2番))・⊖ドライバー使用

1 庫内灯の取り付け位置を確認し、穴をあける。

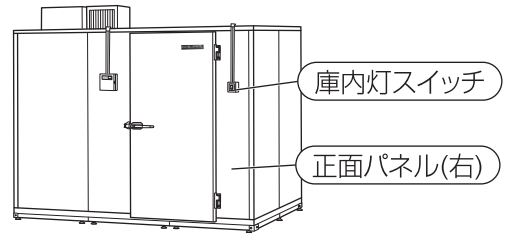
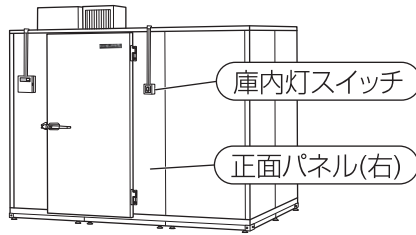
1 庫内灯スイッチは正面パネル(右)に取り付けます。下図を参考に確認してください。

ARV-8001TK

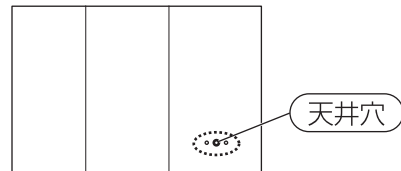
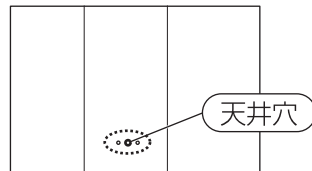
扉位置が右の場合

扉位置が左の場合

庫内灯スイッチ
の位置



天井穴の位置



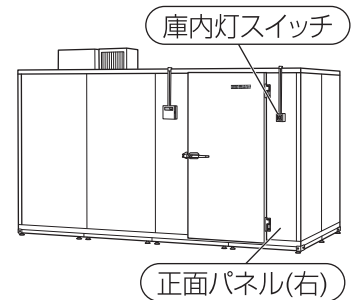
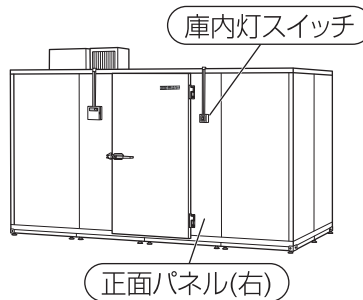
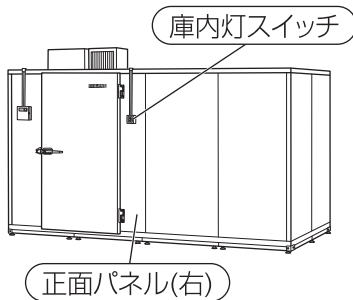
ARV-11001TK

扉位置が右の場合

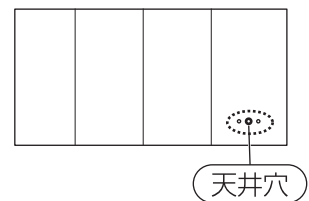
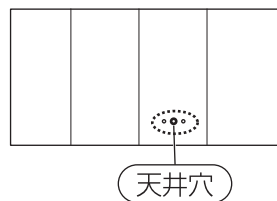
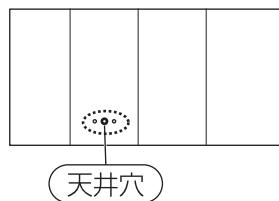
扉位置が中の場合

扉位置が左の場合

庫内灯スイッチ
の位置

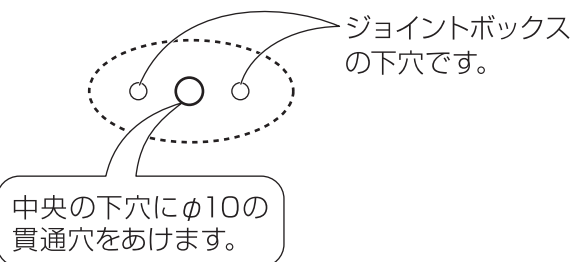


天井穴の位置



2 上図で穴あけ位置を確認し、天井パネルの下穴にφ10の貫通穴をあけます。

※穴あけ後はまわりのバリを面取りなどできれいに取り除きます。



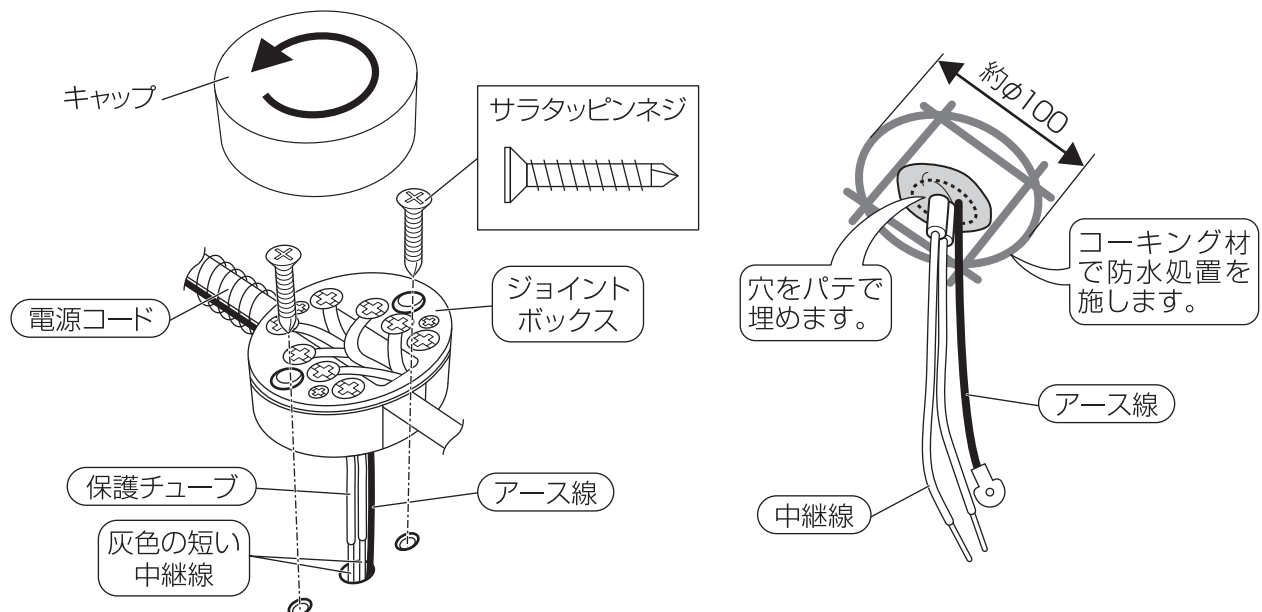
2 ジョイントボックス組立と庫内灯を取り付ける。

1 庫内灯のグローブとLEDランプをはずしておきます。

- (1)グローブを左に回して器具本体からはずします。
 - (2)LEDランプの固定ネジ(2カ所)をゆるめ、LEDランプをずらしてはずします。
- ※庫内灯に付属されている木ネジは使いません。

2 ジョイントボックス組立を取り付ける。

- (1)ジョイントボックスのキャップを左に回してはずします。
- (2)灰色の短い中継線に保護チューブを通し、中継線とアース線(O型端子側)と一緒に天井パネルにあけた $\phi 10$ の穴に通します。
- (3)電源コードとアース線が後側になるようにして、ジョイントボックス組立をサラタツピンで固定します。(2カ所)
- (4)中継線とアース線の長さを合わせて、 $\phi 10$ の穴を庫内側からパテで埋めます。
- (5)天井パネル(庫内側)の取付面にコーキング材で防水処理を施します。



3 庫内灯を取り付けます。

(1) 器具本体を天井天面に取り付けます。

- ・器具の引込線穴から中継線とアース線を引き出します。
- ・器具の取付穴と天井の穴を合わせて、ドリルネジ(短)で固定します。(2カ所)

(2) 電源線とアース線を接続する。

- ・LEDランプ裏面端子台のストリップゲージに合わせて中継線を確実に差し込みます。
- ・アース端子ネジを取りはずして、アース線を接続します。

(3) LEDランプを固定する。

- ・LEDランプ取付穴に固定ネジで固定します。(2カ所)

(4) グローブを取り付ける。

- ・グローブの裏側のパッキンが正しく取り付けであることを確認し、右に回して本体に取り付けます。

注意

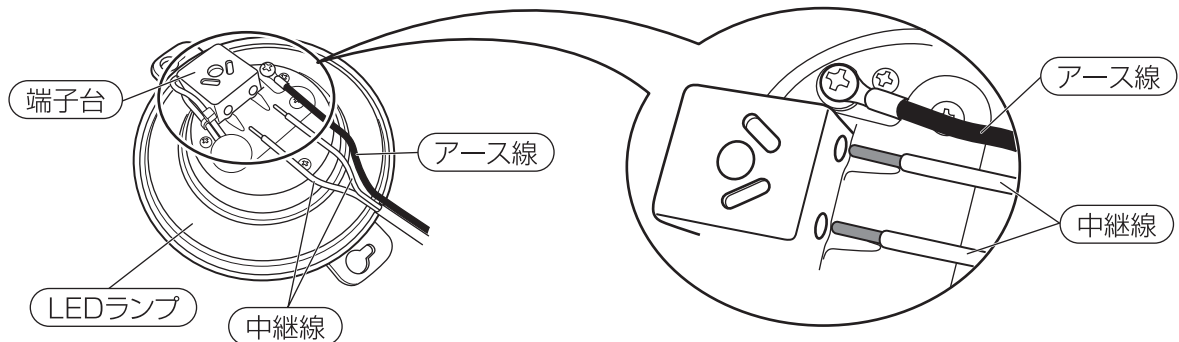
スポンジと取付面との間にすき間がないことを確認してください。すき間があると水分が侵入し、故障の原因になります。

注意

LEDランプを確実に取り付けてください。また配線を挟み込まないように注意してください。

重要

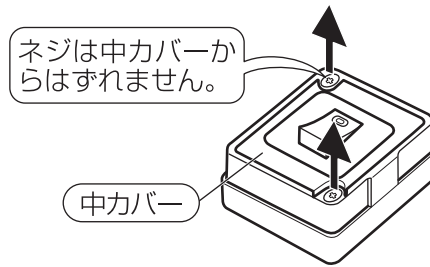
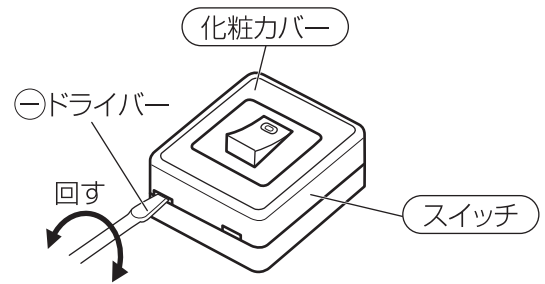
グローブは最後までしっかり回してください。
取り付けが不十分な場合、湿気・水気の侵入による絶縁不良・感電の原因になります。



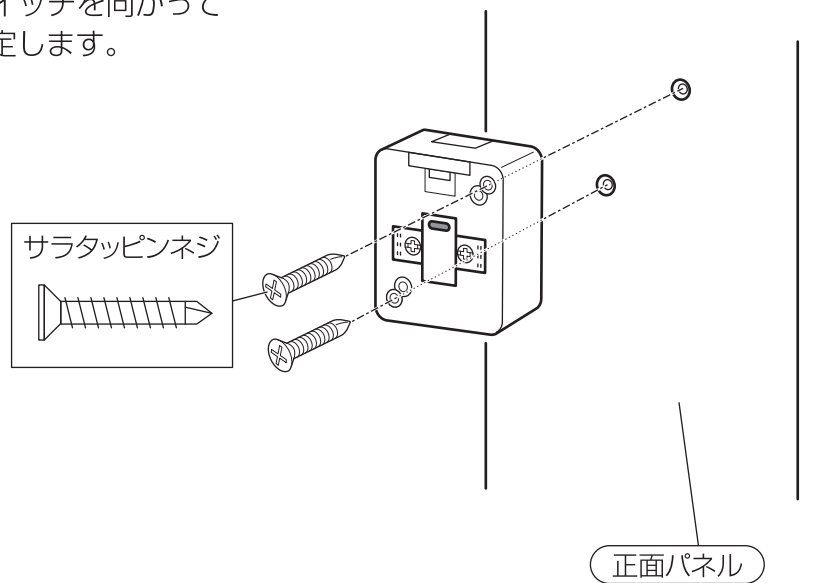
3 スイッチ・配線モールを取り付ける。

1 スイッチの化粧カバーを右図のように
⊖ドライバーを使ってはずします。

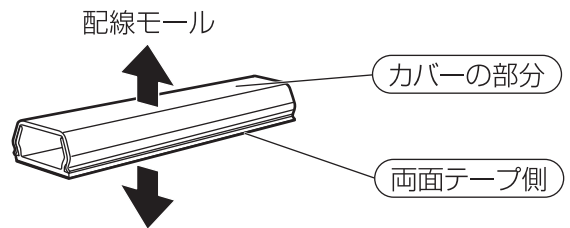
2 ネジをゆるめて中カバーをはずします。



3 サラタッピンネジでスイッチを向かって
右側の正面パネルに固定します。

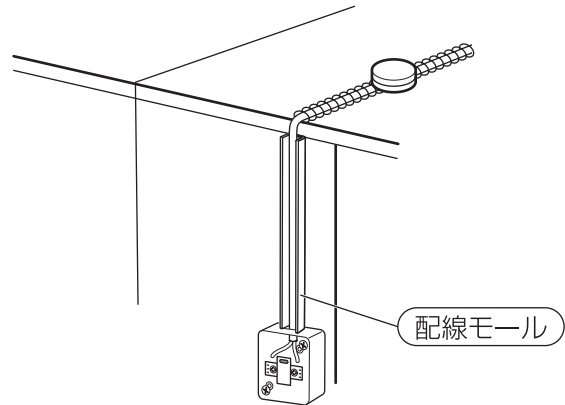


- 5 配線モールの両面テープが付いている側とカバーを分離しておきます。



- 6 正面パネル(右)のスイッチの上側に配線モール(長)をまっすぐ貼り付けます。

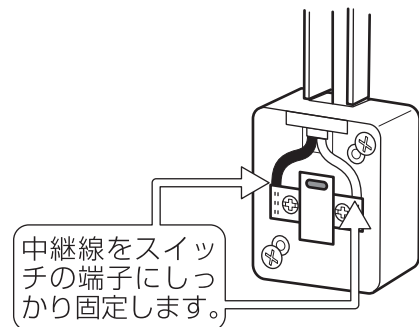
- 7 配線モール(長)延長線上の天井パネルに配線モール(短)をまっすぐ貼り付けます。



- 8 中継線をスイッチの端子にしっかり固定します。

- 9 スイッチカバー・化粧カバーを元通りに取り付けます。

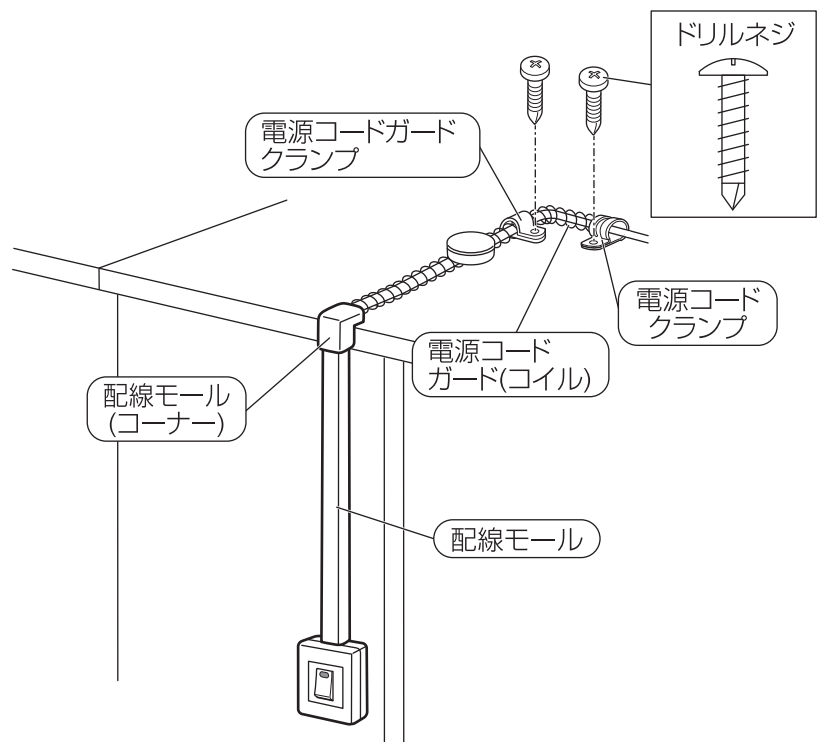
- 10 配線モールのカバーの部分と配線モール(コーナー)を取り付けます。



4 配線をする

- 1 電源コードを電源コードクランプにはめ込み、ドリルネジで固定します。(1カ所)

- 2 電源コードガード(コイル)を電源コードガードクランプにはめ込み、ドリルネジで固定します。(2カ所)

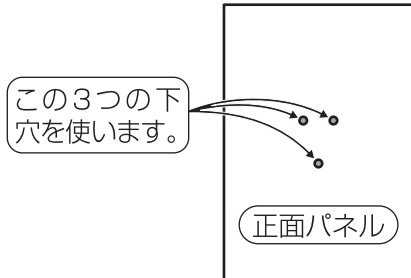


12 操作パネル取付板を取り付ける。

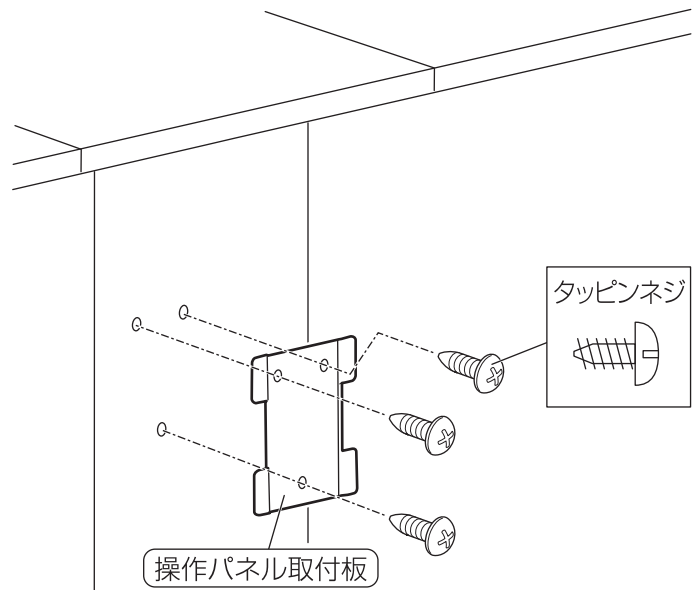
必要なネジ | タッピンネジ | 3個

⊕ドライバー(2番)または電動ドライバー使用

- 1 操作パネル取付板を取り付けるための穴位置を確認します。

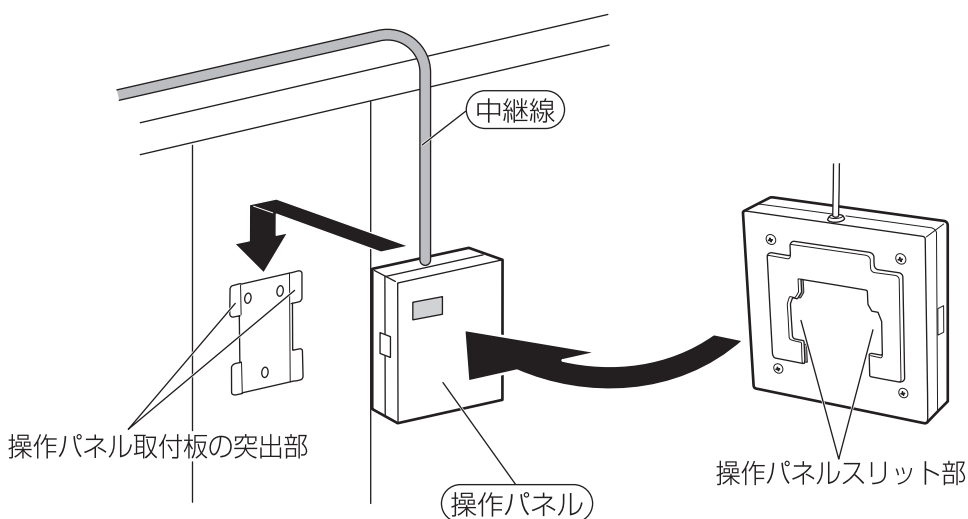


- 2 操作パネル取付板の穴と向かって左側の正面パネル上側の穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(3カ所)

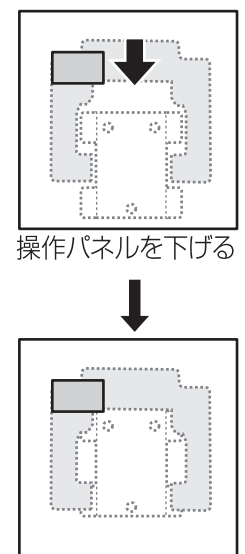


13 操作パネルを取り付ける。

- 1 操作パネル取付板の突出部と操作パネルの裏側のスリット部を合わせます。
- 2 下側へスライドします。

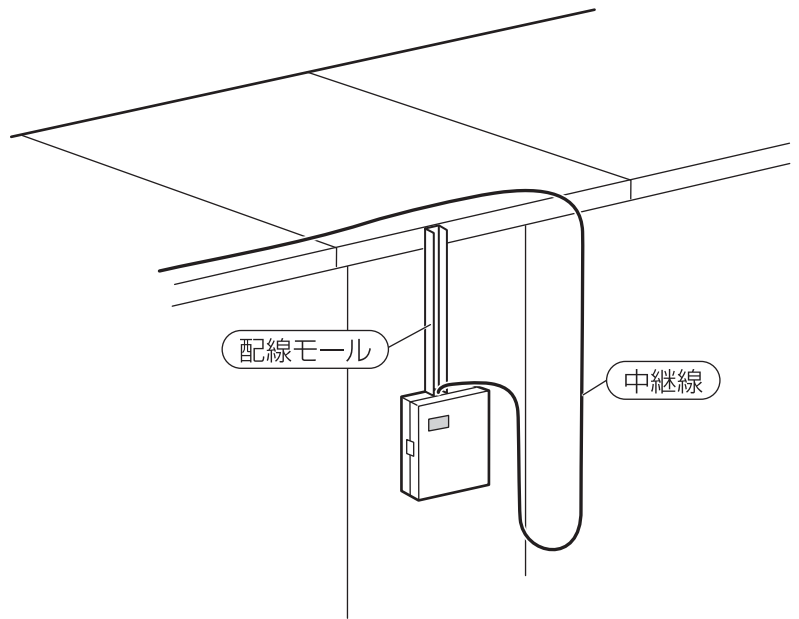
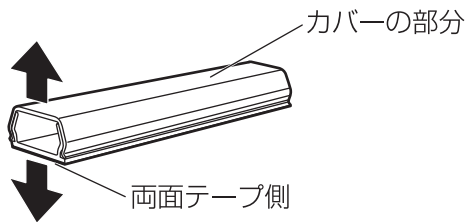


正面から見たところ
※点線は操作パネルの裏側



14 配線モールを貼り付ける。

- 1 配線モールを貼り付けるパネル表面の汚れや油分はきれいに取り除きます。
- 2 配線モールの両面テープがついている側とカバーを分離しておきます。
- 3 配線モールを操作パネルの中心に合わせまっすぐ貼り付けます。

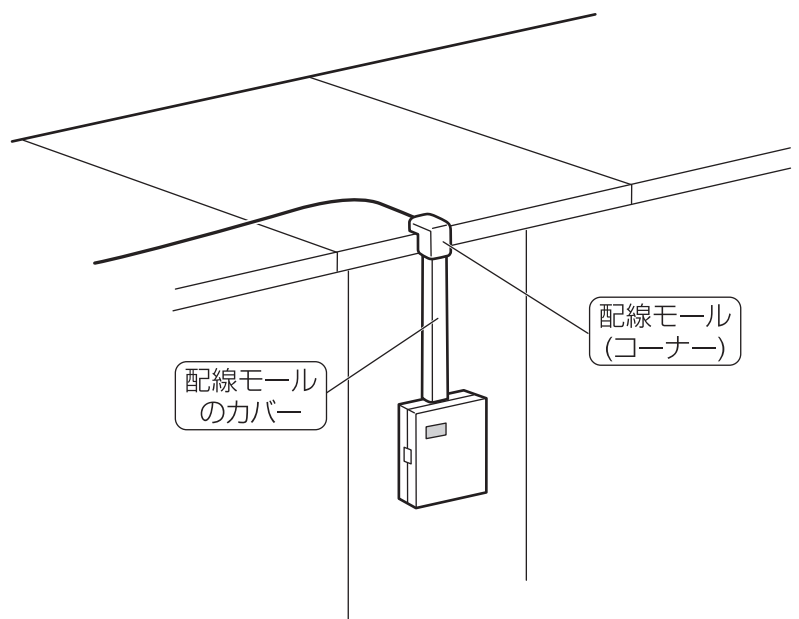


15 配線モールのカバーを取り付ける。

- 1 中継線が配線モールの中でたるんでいないか確認し、配線モールのカバーを取り付けます。
- 2 天井の上の中継線を整えてから配線モール(コーナー)を配線モールの上からはめ込みます。

注意

中継線をはさまないように注意してください。

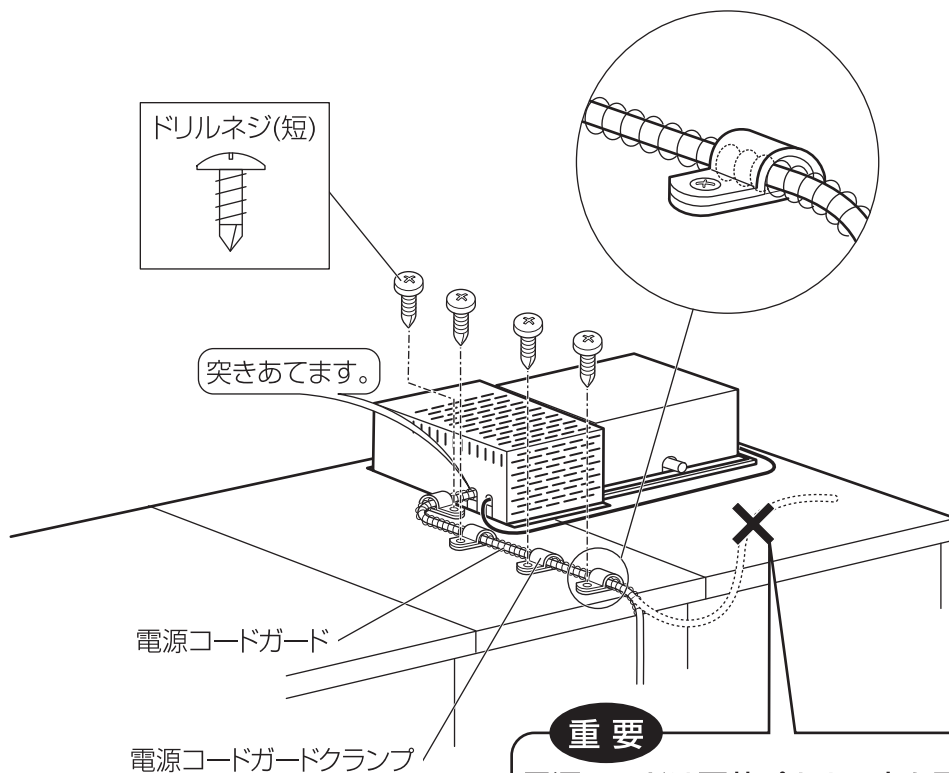
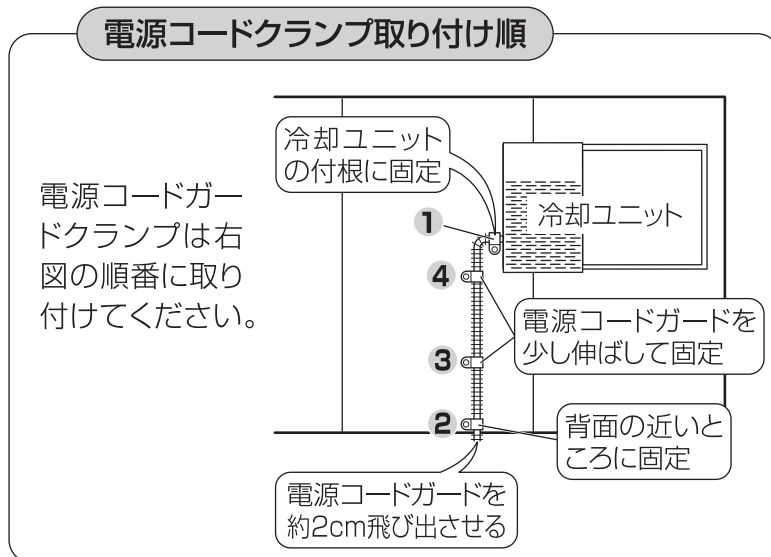


16 電源コードガードを固定する。

必要なネジ | ドリルネジ(短) | 4個

電動ドライバー使用

- 1 電源コードガード(コイル)を電源コードガードクランプにはめこみ、ドリルネジ(短)で固定します。(4カ所)



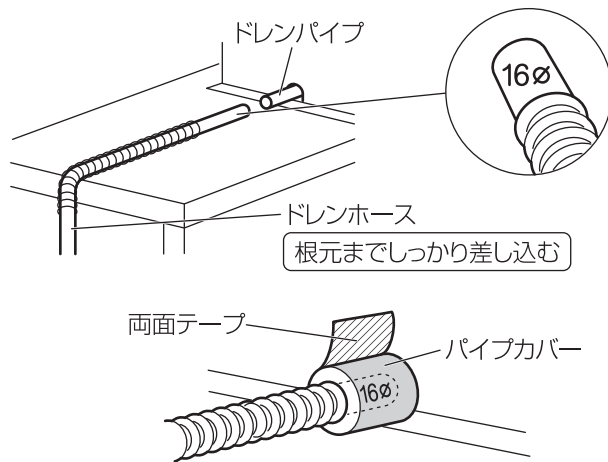
電源コードは天井パネルの上を引き回さない。
ネズミなどにかじられて感電・火災の原因になります。

17 ドレンホース・パイプカバーを取り付ける。

必要なネジ	ホースクランプ	7個(予備1個)
	ドリルネジ(短)	14個(予備2個)

電動ドライバー使用

- 1 ドレンホース(16φの刻印がある側)をドレンパイプに奥までしっかり差し込みます。
- 2 ドレンパイプ部にドレンホースの上からパイプカバーを巻き付け、両面テープでしっかりと固定します。



重要 パイプカバー取り付け上の注意

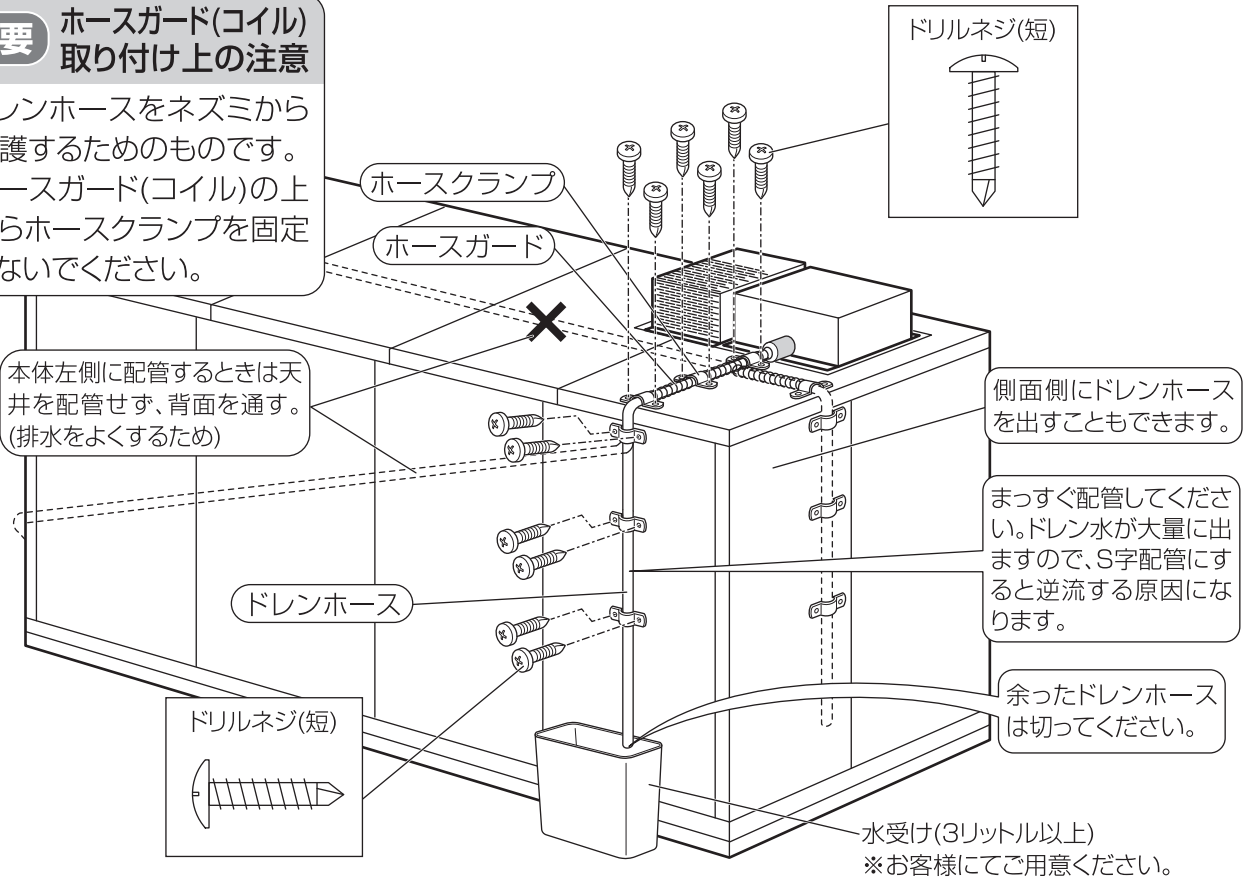
- 冷却ユニットのドレンパイプ(アルミ製)の結露を防ぐための部品です。
- ドレンパイプの根元にすき間が空かないようにしっかりと固定してください。すき間があると結露の原因になります。

- 3 ホースガード(コイル)をパイプカバーに突き当て、ドレンホースをホースクランプで本体にタッピンネジ(短)・ドリルネジ(短)で固定します。(天井パネルには下穴がありますが、他のパネルには下穴はありません。)

ホースガード・ホースクランプの取り付け位置は次ページ参照のこと。

重要 ホースガード(コイル)取り付け上の注意

- ドレンホースをネズミから保護するためのものです。
- ホースガード(コイル)の上からホースクランプを固定しないでください。

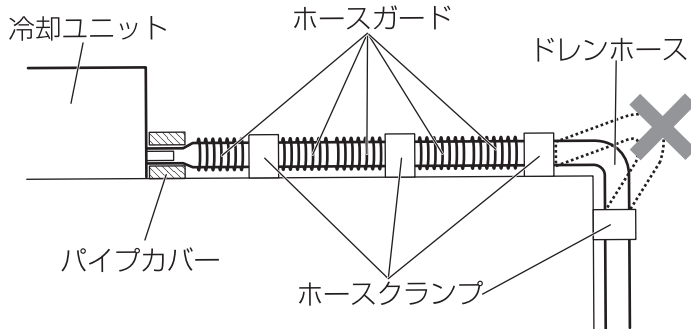


ドリルネジの締め付けかた

ネジを空回りさせないため、ドリルネジがパネルに食い込んだところでいったん電動ドライバーをとめて、あとは少しずつ締め付けます。

重要

ドレンホース取り付け上の注意



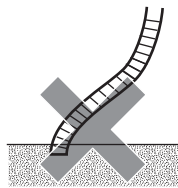
- 根元までしっかり差し込んでください。
すき間があると水もれや結露することがあります。
- 冷却ユニットからの排水の流れをよくするため、ドレンホースは途中で持ち上がらないようまっすぐにしてホースクランプで固定してください。
ドレンホースが持ち上がっていると排水ができなくなり、庫内のドレン皿から水があふれて貯蔵物をぬらしてしまいます。

ドレンホース配管上の注意

・ S字にしない。



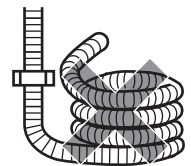
・ 土中に埋めない。



・ 水面につけない。

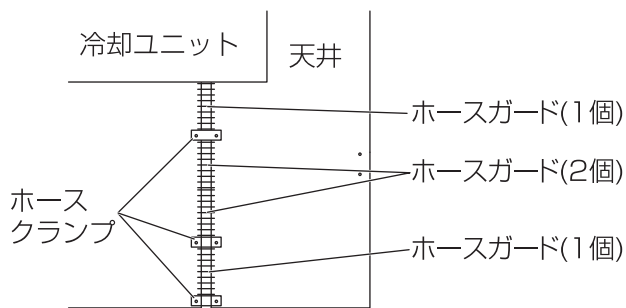


・ 巻かない。

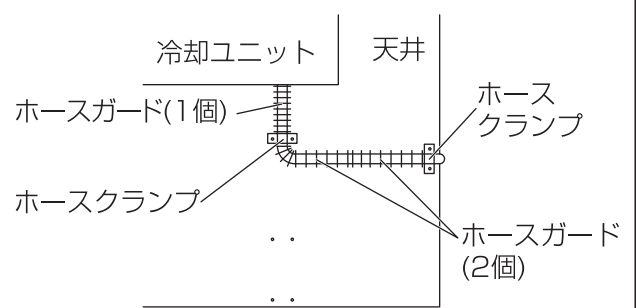


ホースガード・ホースクランプの取り付け位置

背面へ配管するとき



側面へ配管するとき



18 庫内ダクトカバーを取り付ける。

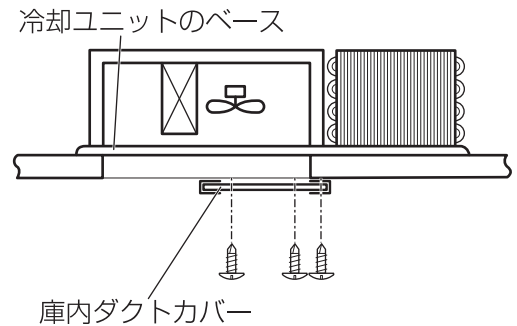
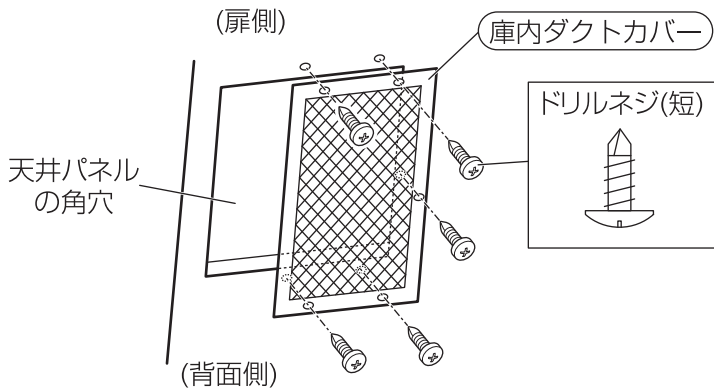
必要なネジ | ドリルネジ(短) | 5個

電動ドライバー使用

- 庫内ダクトカバーの穴と天井パネルの角穴の周囲にある穴を合わせ、ドリルネジ(短)で固定します。(5カ所)

※庫内に入って天井パネルを見上げている状態のイラスト

※断面図



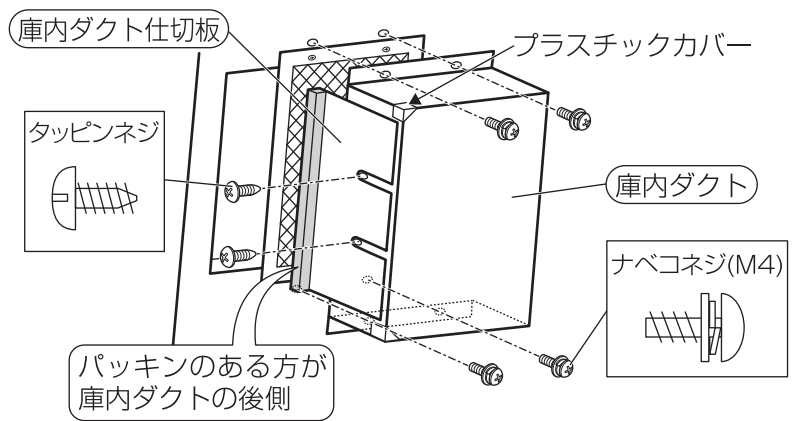
19 庫内ダクト・庫内ダクト仕切り板を取り付ける。

必要なネジ | ナベコネジ(M4) | 4個
| タッピンネジ | 2個

⊕ドライバー(2番)・電動ドライバー使用

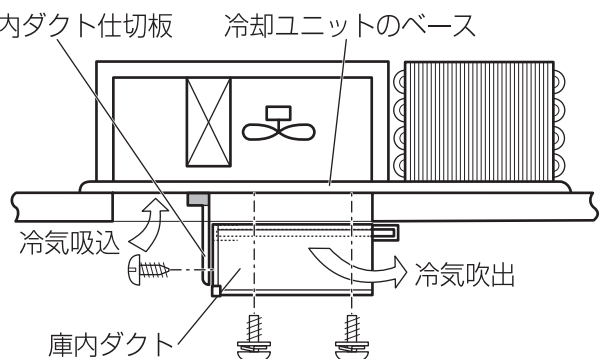
- 1 庫内ダクトの穴と天井パネルの穴を合わせ、ナベコネジ(M4)で固定します。(4カ所)
- 2 庫内ダクト仕切り板のパッキンを冷却ユニットのベースに突き当て、庫内ダクトの穴と庫内ダクト仕切り板の切り欠きを合わせ、タッピンネジで確実に取り付けてください。

※庫内に入って天井パネルを見上げている状態のイラスト



庫内ダクト仕切り板の方向に注意してください。

※断面図




重要

庫内ダクト仕切り板のパッキンと冷却ユニットのベースの間にすき間ができないようにしてください。すき間があると、冷却不良の原因になります。

20 パネルの継目にコーキングをする。(庫内側のみ)

コーキングガン使用

- 1 コーキングする部分の汚れ・油分をきれいに取り除きます。(庫内側のみ)
- 2 コーキング剤をコーキングガンにセットし、コーキング剤を押し出しながら前進させます。パネルの継目全てに(庫内側)にすき間がないようにコーキングします。
 - 下図イラストの  で示した場所にコーキングをしてください。※ブラケットの下および周りはありません。
- 3 コーキングのあとは、ヘラなどできれいに仕上げてください。

注意

コーキング剤の取り扱いについては、コーキング剤に書かれている注意書をよくお読みください。

警告



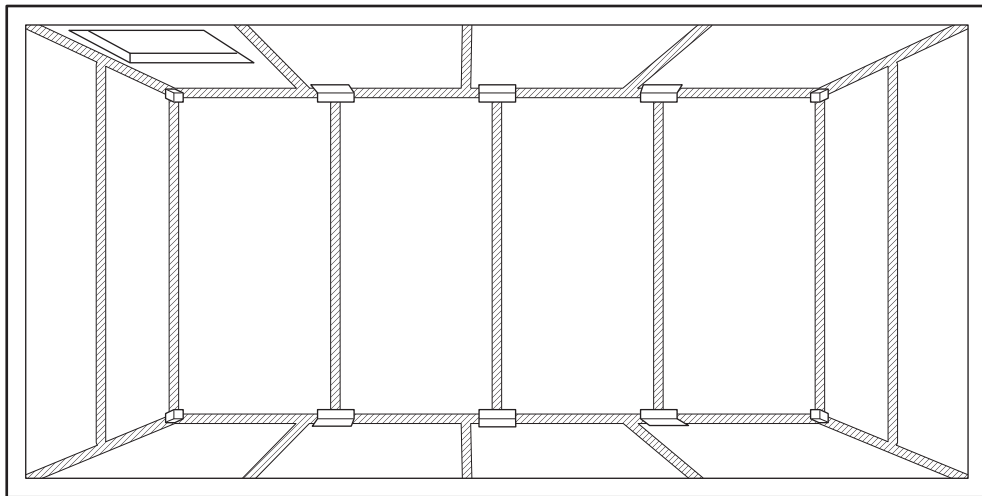
必ず実施

換気を充分おこない、作業をする。

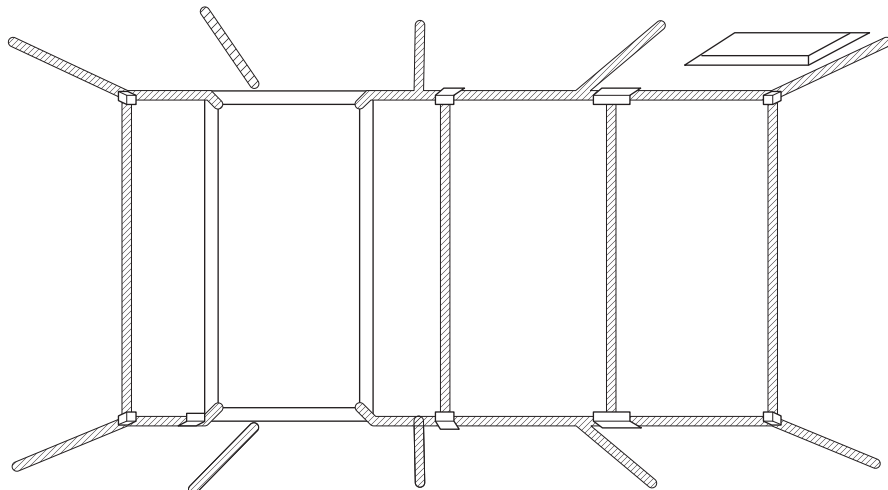
コーキング剤の硬化時にガスが発生しますので、大量に吸うと体調が悪くなる原因になります。

コーキングをする場所

扉側から庫内を見た場合



庫内から扉側を見た場合



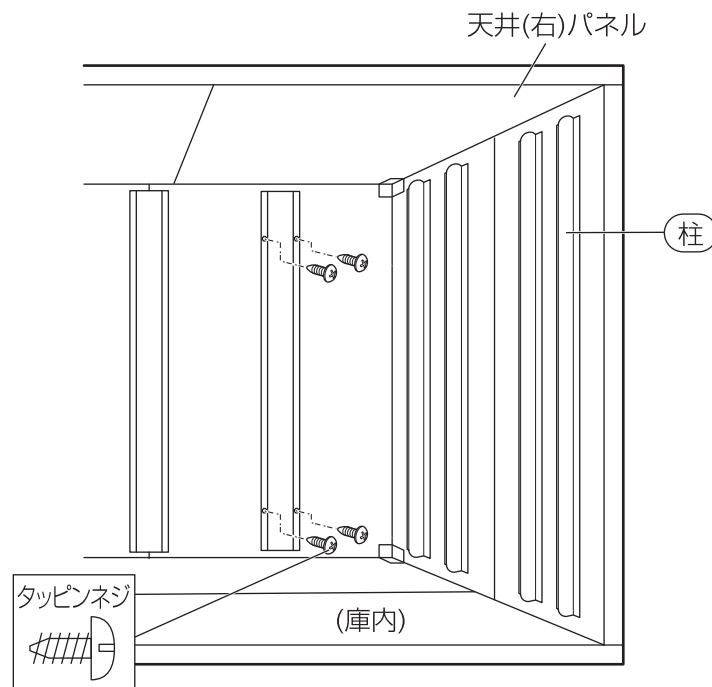
21 柱を取り付ける。

必要なネジ	ARV-8001TK	ARV-11001TK
タッピンネジ	52個	68個

⊕ドライバー(2番)
電動ドライバー使用

① 柱の穴と庫内の下穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(柱1本あたり：4カ所)

	ARV-8001TK	ARV-11001TK
背 面	4本	6本
右 側 面	4本	4本
左 側 面	4本	4本
正 面	1本	3本
合 計	13本	17本



22 ヒンジ・扉ストッパーを本体に取り付ける。

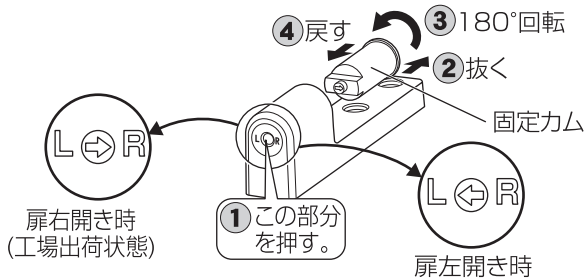
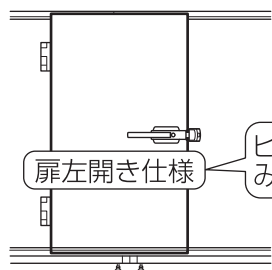
必要なネジ	サラコネジ(M6)	8個
	タッピンネジ	4個

⊕ドライバー(2番・3番)・電動ドライバー使用

ヒンジの組み替え(扉左開き仕様のみ)

扉が左開きのときは、ヒンジの組み替えが必要です。

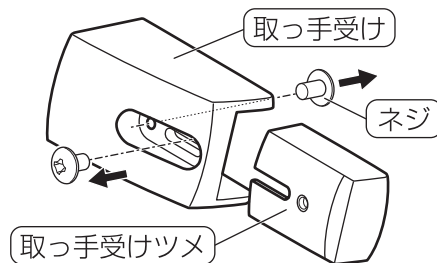
● 固定カムの矢印を逆向きに組み替えます。(2個)



- 1** 取っ手受けのネジ(内外の2個)をはずして取っ手受けツメを取りはずします。

取っ手受けツメをはずさないで取っ手受けをパネルに取り付けできません。

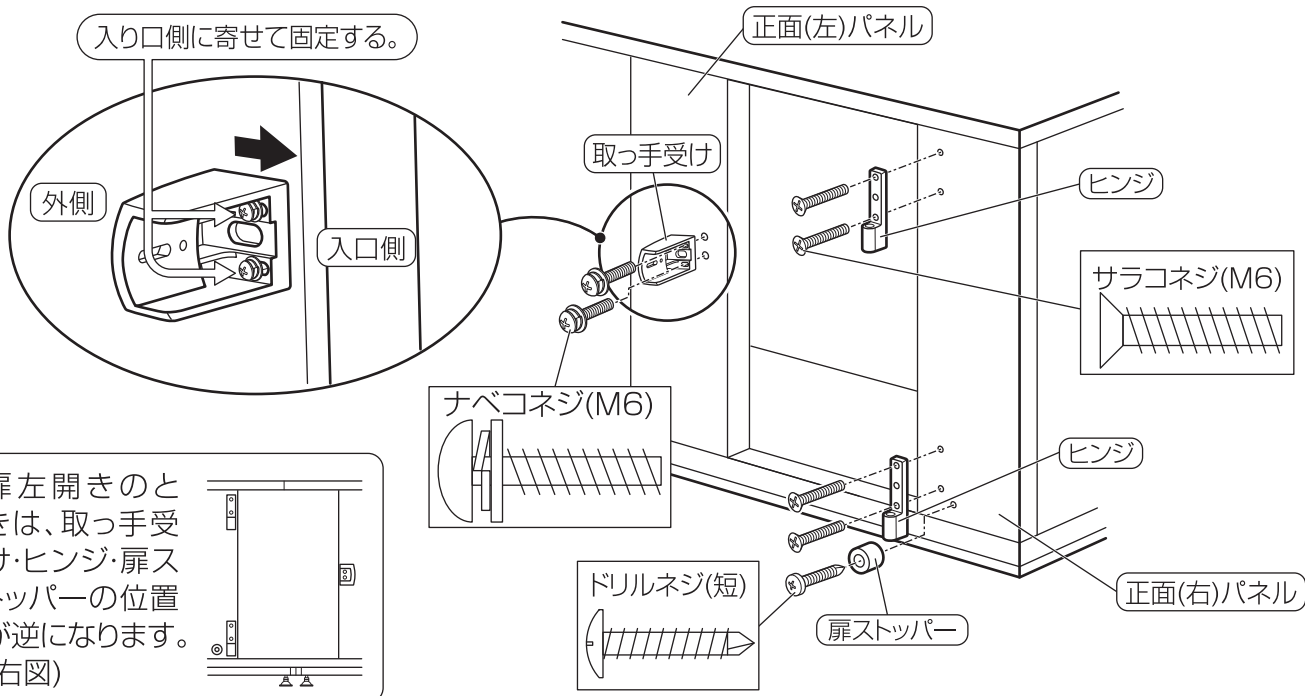
取りはずしたネジは 24-③ で使います。



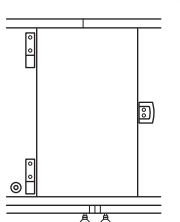
- 2** 正面(左)パネルに取っ手受けをナベコネジ(M6)で固定します。(2カ所)

取っ手受けは入口側に寄せて固定してください。
外側寄りに取り付けると、取っ手との調節ができないことがあります。

- 3** 正面(右)パネルに扉ストッパーをドリルネジ(短)で固定します。(1カ所)



扉左開きのときは、取っ手受け・ヒンジ・扉ストッパーの位置が逆になります。(右図)



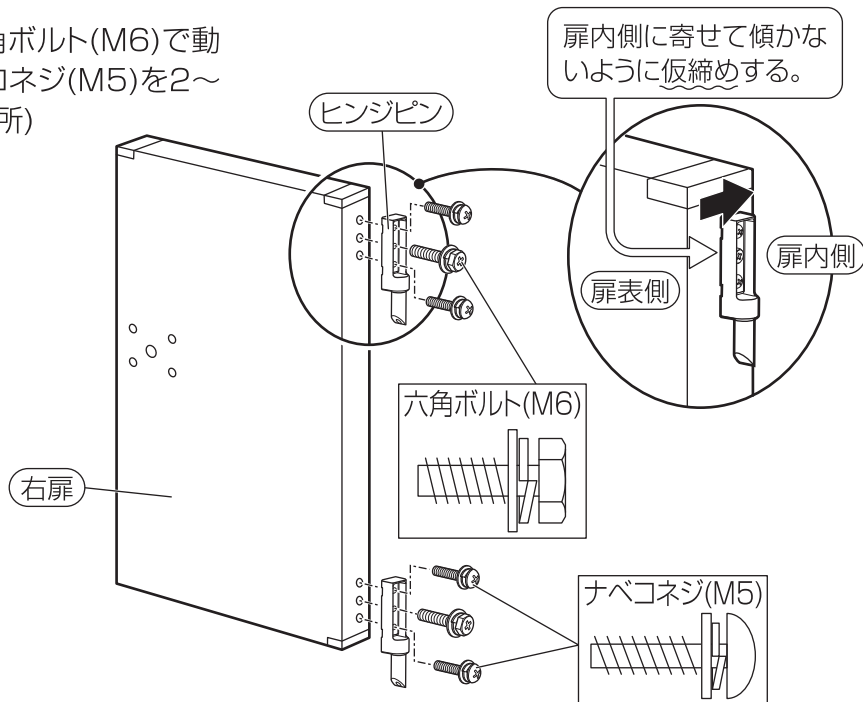
23 ヒンジピン・取っ手・安全押棒を右扉に取り付ける。

必要なネジ	ナベコネジ(M6)	4個	六角ボルト(M6)	2個
	ナベコネジ(M5)	4個	ナベコネジ(M4)	3個

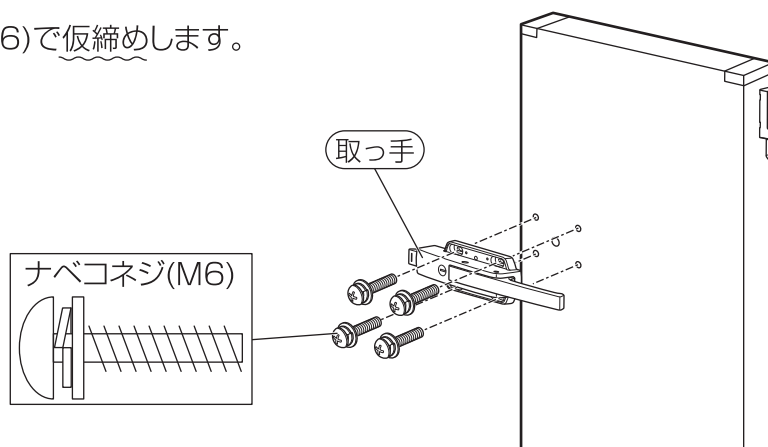
⊕ドライバー(2番・3番)・電動ドライバー使用

- ① 右扉にヒンジピン(2個)を六角ボルト(M6)で動かない程度に仮締めし、ナベコネジ(M5)を2〜3山軽く締めておきます。(4カ所)

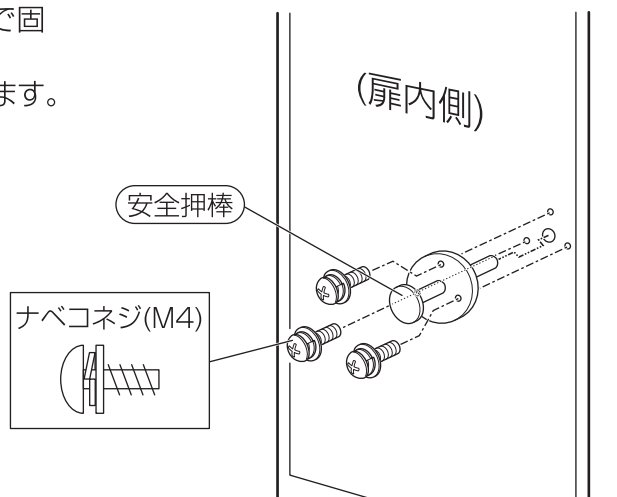
ヒンジピンは長穴になっていますので、扉内側に寄せて傾かないように仮締めしてください。
傾いていると、扉が本体に取り付けできません。



- ② 右扉に取っ手をナベコネジ(M6)で仮締めします。(4カ所)

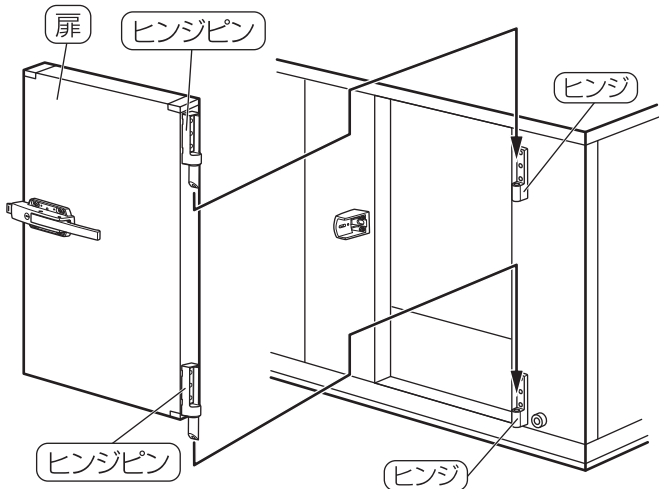


- ③ 右扉の内側に安全押棒をナベコネジ(M4)で固定します。(3カ所)
安全押棒がスムーズに作動することを確認します。



24 扉を本体に取り付け、調節をおこなう。

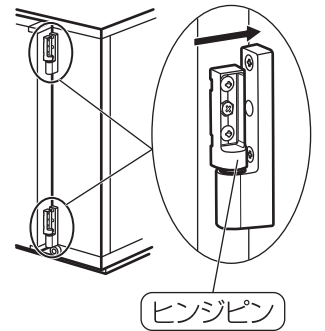
- ① 扉を本体に取り付けて、本体と扉パッキンのすき間調節をおこないます。



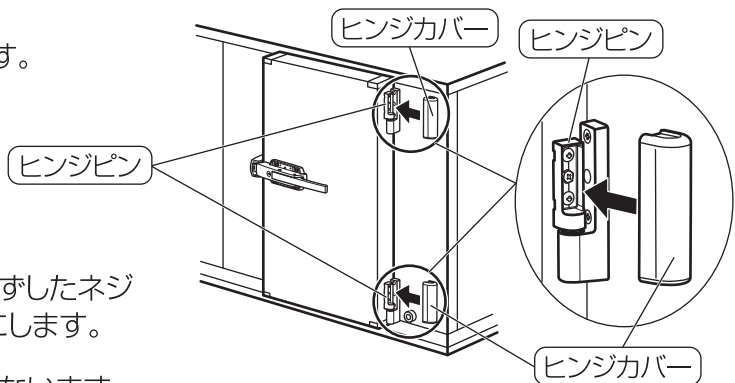
扉の調節

扉を本体側に動かして、調節します。
庫内に入って扉を閉め、扉パッキンが全周あたっていることを確認し、ヒンジピンのナベコネジ(M5)を本締めします。

※六角ボルト(M6)は仮締めのままだでも問題ありません。



- ② ヒンジピンにヒンジカバーを取り付けます。



- ③ 取っ手受けツメを 22-① で取りはずしたネジ(2個)で仮締めして、前後に動く状態にします。

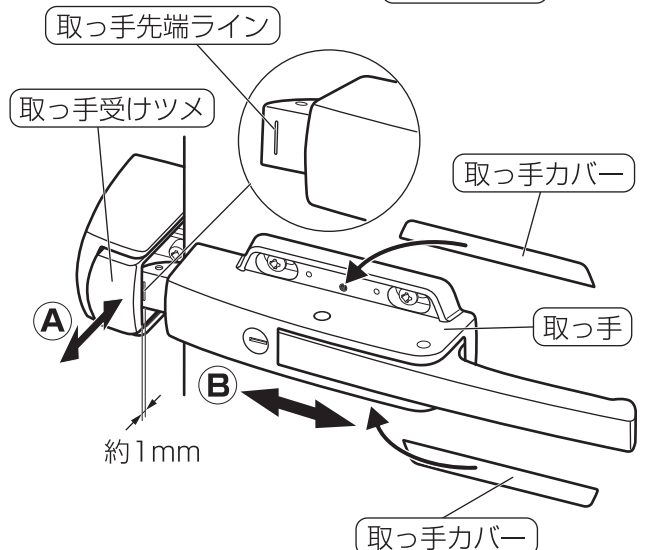
- ④ 取っ手受けツメと取っ手の調節をおこないます。

A 取っ手受けツメの調節

取っ手受けツメを前後に動かして調節します。扉を閉めた状態で、取っ手受けツメと取っ手先端のすき間を1mm程度あけて取っ手受けツメのネジを本締めします。

B 取っ手の調節

取っ手を左右に動かして調節します。(ネジを軽くゆるめます)
扉を閉めた状態で、取っ手先端のラインと取っ手受けツメを一致させて取っ手のナベコネジ(M6)を本締めします。



調節後、扉が確実に閉まることを確認します。

- ⑤ 取っ手に取っ手カバーを取り付けます。
⑥ キーを回して確実にロックすることを確認します。
⑦ 扉を開き、開いた角度が約120°~150°までは扉の自重で閉まり、それ以上に開いたときはその状態を保持することを確認します。

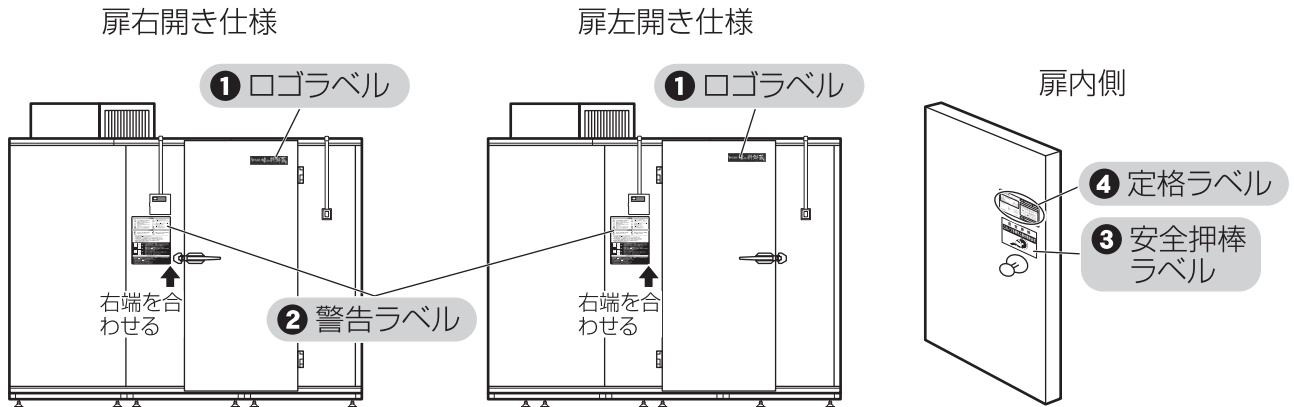
お願い

- キー(2個)は、最後にお客様に必ずお渡しください。

25 ラベル類を貼り付ける。

※下の図はARV-8001TKを示しています。ARV-11001TKについても同様に貼り付けてください。

- ① ロゴラベルを扉パネルの右上側に貼り付けます。
- ② 警告ラベルを操作パネルの下側に貼り付けます。
- ③ 安全押棒ラベルを扉内側の安全押棒上側に貼り付けます。
- ④ 定格ラベルを扉内側の安全押棒ラベル上側に貼り付けます。



定格ラベルの貼り付けについて

- ARV-8001TKとARV-11001TKの定格ラベルを付属しています。
- 設置した製品の定格ラベルに設置日を記入し、扉内側の安全押棒ラベル上側に貼ってください。
- 下の説明はARV-8001TKの場合を示しています。
(ARV-11001TKについても同様におこなってください。)

重要 設置した製品と定格ラベルの型式が一致していることを確認してください。

味の新鮮蔵 ARV-8001TK

エムケー精工株式会社
 定格電圧 三相200V
 定格周波数 50/60Hz
 電動機の定格消費電力 700/820W

外形寸法
 幅 2700mm
 奥行き 1940mm
 高さ 2335mm

定格内容積 7512L

お問い合わせ先
 エムケー精工株式会社
 〒387-8603 長野県千曲市南宮1825
 フリーダイヤル ☎0120-70-4040
 受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時
 (土日および弊社休業日を除く)

設置日 年 月 日

味の新鮮蔵 ARV-11001TK

エムケー精工株式会社
 定格電圧 三相200V
 定格周波数 50/60Hz
 電動機の定格消費電力 700/820W

外形寸法
 幅 3600mm
 奥行き 1940mm
 高さ 2335mm

定格内容積 10112L

お問い合わせ先
 エムケー精工株式会社
 〒387-8603 長野県千曲市南宮1825
 フリーダイヤル ☎0120-70-4040
 受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時
 (土日および弊社休業日を除く)

設置日 年 月 日

(扉内側)

ARV-8001TKの定格ラベル

設置日を記入してください。

ARV-11001TKの定格ラベル

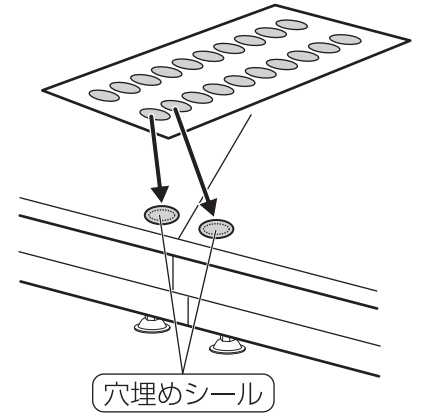
26 穴埋めシールを貼り付ける。

- 庫内の使用していないネジ穴に穴埋めシールを貼り付けます。

※穴埋めシールを貼り付ける数は扉位置により異なります。

下表を参照して貼り忘れのないようにしてください。

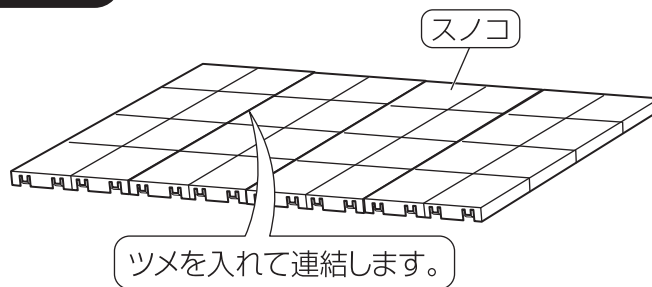
		ARV-8001TK		ARV-11001TK		
扉位置		左	右	左	中	右
M8ボルト 用下穴	天井側	2枚	2枚	3枚	3枚	3枚
	床側	3枚	3枚	4枚	3枚	3枚
	正面側	4枚	3枚	6枚	5枚	5枚
	背面側	2枚	2枚	4枚	4枚	4枚
合	計	11枚	10枚	17枚	15枚	15枚



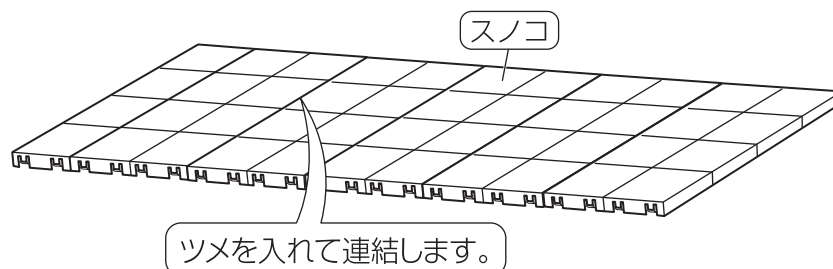
27 スノコをセットする。

- スノコを床パネルの上に置きます。

ARV-8001TK



ARV-11001TK



試 運 転

【定格電圧・周波数 三相200V 50/60Hz】

警告



必ず実施

15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。
他の機器とタコ足配線すると発熱による火災の原因になります。



必ず実施

延長コードを使用するときは、太さ2mm²以上、長さ10m以下にする。
発熱による火災の原因になります。
電圧降下により、正常に作動しない原因になります。

1 電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを「入」にする。

- 庫内温度表示部に現在の庫内温度が表示されます。
- 庫内ファンが回って運転を開始します。

2 庫内温度表示部の表示確認をおこなう。

- [設定]キーを押し、庫内温度表示部が点滅を確認してから、[高]キーおよび[低]キーを押して表示部に **5** ~ **15** まで表示することを確認します。

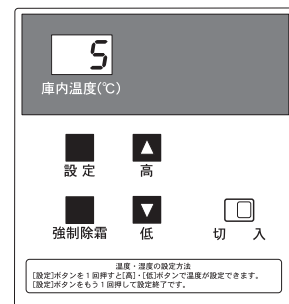
3 冷却運転の確認をおこなう。

操作方法

温度設定を5℃にして運転を開始します。

注 意

周囲温度が低く試運転できないときは、設定温度を-5℃にして、必ず試運転をしてください。



動作および確認方法

庫内ファン・凝縮器ファン・コンプレッサーが運転していることを確認してください。

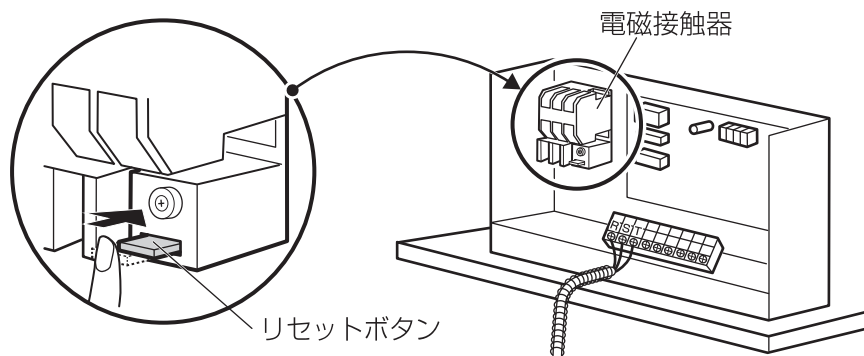
庫内ファン	凝縮器ファン	コンプレッサー
庫内ダクトの冷気吹き出し口から風が出ていることを確認します。	凝縮器フィンに手を近づけて風が吸い込まれていることを確認します。 ※運転開始、約3分後に凝縮器ファンの運転がはじまります。	冷気吹き出し口から出ている風が冷気(冷たい風)であることを確認します。 ※運転開始、約3分後にコンプレッサーの運転がはじまります。

冷氣吹き出し口から冷氣が出ずに庫内が冷えないときは

- 電装ボックスの電磁接触器のリセットボタンが作動していないか確認してください。

確認のしかた

- ❶ コンセントから電源プラグを抜きます。
- ❷ ユニットサイドカバーを取りはずします。(P.20参照)
- ❸ 電装ボックスのカバーを取りはずします。(P.17参照)
- ❹ 電磁接触器のリセットボタンを押し込んでください。



- ❺ 電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを「入」にします。

memo

A series of horizontal dotted lines for writing.

設置業者の方へのお願い

組立・設置記録

- 扉内側に貼付の 定格ラベルに組立・設置日を必ず記入 してください。
- 下記の欄に必要な事項を記入し、お客様にお渡しください。

組 立 ・ 設 置 日	設 置 業 者
年 月 日	住所・氏名
	TEL

フロン排出抑制法 第一種特定製品

この製品には冷媒として、R404A(GWP値：3920)が使われています。

- (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2) この製品を廃棄・整備するときは、フロン類の回収が必要となります。
- (3) フロン類の種類および数量は、冷却ユニットに貼付のラベルに記載されています。

※GWP…地球温暖化係数